

関大

第571号

平成24年(2012年)9月15日発行
奇数月15日発行・昭和30年8月6日第三種郵便物認可

関西大学校友会

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 関西大学校友・父母会館
電話06(6368)1121(代) FAX06(6380)8476
URL <http://www.kandai-koyukai.com/>
Eメール koyukai@ml.kandai.jp

平成24年度校友総会 10月21日(日)に開催
「任期満了による代議員の改選」を付議
記念講演講師は金美齡氏
全国組織代表者会議開く

学校法人関西大学次期評議員95人決まる
任期は平成24年10月1日から4年間
法人・教学のトップが校友国会議員・市長と懇談
震災被害の岩手県大槌町と連携協定



天神祭・船渡御に唯一の大学船として就航した「関大丸」



「緑のカーテン」

この夏、関西大学会館に「緑のカーテン」が出現した。夏の日除けとして家庭でもよく見られるようになったゴーヤ130株をプランターに植えて、6月末に設置。8月末には写真のような見事なカーテンに。

関西大学では、各キャンパスとも一昨年（22年）7月から9月の使用最大電力を基準に、15%の節電目標に取り組んでおり、順調に推移している。今後もエコキャンパスづくりの観点から同目標に取り組んでいく。

冷房の設定温度は28度。少しでも熱さを和らげようと、試験的にシーリングファンを天井に取り付けたところ好評で、今後希望のところには順次設置していく予定。



関大 571号 目次

本部活動

- 2 **平成24年度校友総会** 10月21日(日)に開催
「任期満了による代議員の改選」を付議
金美齡氏が記念講演
「帰属意識を考える—愛校と愛国について—」
天神祭・船渡御の「関大丸」、唯一の大学船として就航
総合関関戦勝利者賞授与式を開催
18クラブに勝利者賞、敢闘賞など授与
平成24年度全国組織代表者会議開く
62の地域支部が7分科会に分かれて活発に討議
- 12 **連携プロデューサーの企業訪問**—ものづくりの現場のいま—(7)

大学・学生関係

- 14 **学校法人関西大学次期評議員95人決まる**
法人・教学のトップが校友国会議員・市長と懇談
母校への熱い思い語り、相互の交流も
震災被害の岩手県大槌町と連携協定
空手道部の清水希容が世界選手権女子個人形で優勝
中等部の宮原知子がジュニアGP第2戦で初優勝
- 23 **こんにちは！香川支部です。**—川北文雄支部長に聞く
- 24 **好友抄 2** 大河原 健氏(埼玉支部)
- 26 北から南から<各地支部だより>
- 43 校友トピックス 新刊紹介 訃報 会と催し



葦の岸

今年の夏は、酷暑の中、オリンピック、高校野球など大いに感動した方が大勢おられたと思います▼少し前になりますが、兵庫県播磨科学公園都市にある独立法人理化学研究所播磨研究所スプリング8の一般公開が、4月30日に開催され多くの家族連れで大変賑わっていました。世界最高性能の放射光を生み出すことができる大型放射光施設です▼当日の科学講演「地球の中心には何があるか？」の場合、小中学生が真剣な眼差しで聞き入り、若い研究者に質問を浴びせていました。別の研究テーマの場合も、若い研究者にあこがれのような気持ちで質問をしていました。この子どもたちが、将来科学に興味を持ち、研究者になりたいと思ってくればと強く感じた次第です▼これと同じことは、オリンピック、高校野球にも言えます。特にロンドンオリンピックでの日本選手の活躍、余りメジャーではない各種スポーツでの日本選手の活躍が現実に報道されると、テレビの前に釘付けになりました。また、高校野球の選手の生い立ちも、ほとんどが幼い時から親と一緒に、子どもの夢にまい進しています▼その根底にあるのは、選ばれた選手たちの子どもの時からの環境と、周りの関係者の努力だと思えます。子どもたちは、将来の夢を日記とか卒業記念誌に多く表現していますが、オリンピックや高校野球を通じて、それを実現できる事実があることを知ったと思います▼科学、スポーツ、芸術、文化も含め、早くから生の姿を見せ、夢を語らせ、参加しながら力をつける環境づくりが本場に必要と改めて知らされました。

10月21日(日)にBIGホール100で開催

「任期満了による代議員の改選」を付議

平成24年度校友総会は、10月21日(日) 12時半から千里山キャンパス・第2学舎4号館BIGホール100で開催される。例年どおり総会・記念講演・懇親会の3部構成で開催され、校友なら誰でも自由に参加でき、会費は無料。

なお、駐車場は無いので、電車で来学下さい(阪急電車・千里線「関大前」駅下車)

校友総会は、11時半受付で12時半開会。当日日程は、第1部総会(12:30~14:15)、第2部記念講演(14:30~15:30)、第3部懇親会(16:00~17:00)は会場を移して凜風館2階のダイニングホールデノアとなっている。

本年度は、現役員の任期最後の校友総会で、議事として「任

期満了による代議員の改選」が付議される重要な総会となるため、代議員をはじめ多数の校友の参加が望まれる。

「帰属意識を考えるー愛校と愛国について」
金美齢氏が記念講演

また、第2部記念講演では、前号(第570号)でも紹介のとおり、金美齢氏(評論家、学校法人JET日本語学校理事長)に「帰属意識を考えるー愛校と愛国について」の

テーマで講演いただくことになっている。

「どこにも属さないことが格好いい、クールだと思いついてる人がいるが、私はそうは思いません。人間はどこかに帰属してこそ生活や心の安定、幸せを得るものです。家族を愛する、地域を愛する、母校を愛する、それは各個人にとつても大切なことなのです。そしてそれが国を愛する心にも通じることになります。スイスの心理学者ユングが挙げている幸福の5条件のひとつが『人間関係が豊かであること』です。いろいろな仲間の和があつて、人は幸せになる、母校の仲間というのがそのひとつであることは間違

いないでしょう。ちなみにあの4つは『心身ともに健康であること』『自分で程良いと思う程度のお金を持っていること』『美しいことを知る能力や感動する能力があること』『朝起きた時やるべき仕事があること』です。私の好きな人間考察です」と語っている。

懇親会は凜風館で開催

第3部懇親会は、例年どおり凜風館2階のダイニングホールデノアを借り切って開催し、応援団の演舞演奏などアトラクションを企画している。



金美齢氏

プロフィール

- 1934：日本統治下の台湾に生まれる。
- 1959：来日、早稲田大学第一文学部英文科入学。
- 1962：台湾に一時帰省。台湾民主化運動を日本で推進、反政府ブラックリストに載り政治難民となる。
- 1964：周英明氏(東京大学博士課程)と学生結婚。大学院生のときから、聖心女子学院、東京女子大学、東京理科大学、フェリス学院大学の講師を歴任、早稲田大学では1996年3月に至るまで20年以上にわたり英語教育に携わる。
- 1971：早稲田大学大学院文学研究科博士課程単位修了。
- 1975~76：英国ケンブリッジ大学客員研究員。
- 1988：JET日本語学校を設立。
- 1992：31年ぶりに台湾に帰国。
- 2000~06：台湾総統府国策顧問に就任。
- 2009：日本国籍取得。
- 現在：学校法人JET日本語学校 理事長

著書

- 『美しく齢を重ねる』 WAC
- 『凜とした日本人』 PHP研究所
- 『凜とした生き方』 PHP研究所
- 『私は、なぜ日本国民となったのか』 WAC
- 『おひとりさまで幸せですか』 PHP研究所
- 『金美齢の「老後は人生の総決算」です!』 海竜社
- 『戦後日本人の忘れもの』 WAC
- 『夫婦純愛』 小学館
- 『日本人の覚悟』 WAC
- 『日本は世界で一番夢も希望もある国です!』 PHP研究所
- 『日本ほど格差のない国はありません!』 WAC
- 『鬼かあちゃん』のすすめ』 小学館文庫

天神祭・船渡御の

風物詩「関大丸」

唯一の大学船として「関西大学」アピール



天神祭のクライマックス「船渡御」が、7月25日（水）夕刻から行われ、それぞれに装飾を凝らした約80艘の船が大川を行き交い、祭りを盛り上げた。

就航7回目となる「関大

丸」は、今年は唯一の大学船として、大川の兩岸や橋の上で船渡御を楽しむ多くの市民に「強い関西大学」を力強くアピールした。

熱気が残る午後5時半、出航前のセレモニーが行われ、応援団第90代団長・花岡達也君の指揮で学歌を斉唱。寺内校友会長、上原理事長、楠見学長が、天満宮と関大の関係などを交え、「大いに楽しみましょう」と挨拶。

冷えたビールと弁当で一息つき、応援団の最初の演舞が終わると岸を離れ、船渡御が始まった。毎日放送・子守康範アナウンサーと校友の落語家・林家染太さん（平12学

総合関関戦勝利者賞授与式を開催

18クラブに勝利者賞、敢闘賞など授与

第35回総合関関戦は、6月14日から16日まで関西大学千里山キャンパスをメイン会場に開催され、関西大学は14勝18敗1分で4連敗を喫したが、恒例の総合関関戦勝利者賞授与式が、7月18日12時半から校友・父母会館の校友会会議室で開催された。

これは、「強い関西大学」実現の一環として、平成17年度から総合関関戦で勝利したクラブに「勝利者賞」、引き分けたクラブに「敢闘賞」、演武のクラブに「演武賞」を校友会が贈呈しているもの。

授与式には、大学から上原理事長、笹倉学生センター長、体育OB・OG会から小坂会長、黒津副会長、女川OB会長連絡会議議長らが出席。校友会からは寺内会長、古川副会長、田中副会長、また勝利した14クラブ、引き分けた1クラブ、演武3クラブの代表が出席した。まず、寺内会長が「スポーツ

文」の司会で、乗船者は行き交う船をはじめ、川岸や橋の上を埋めた見学者と次々と大阪締めを交わし、真近かで打ち上げられる花火に歓声をあげ、船渡御を堪能した。

の総合対校戦として全国でも有数の歴史を持つ総合関関戦だが、関大は4連敗を喫し残念だ。この場におられない各部にも来年こそは頑張ってもらいたいと伝えていたきたい」と挨拶。上原理事長、笹倉学生センター長、小坂体育OB・OG会長からも「来年こそは勝利を」との思いを込めた激励の挨拶が述べられた。



「くらしと水」の接点を支えています

暮らしになくなくてはならない水——
タブチは、安全で快適な
給水用具の創造で
人々の暮らしを支えています

ホームページは [タブチ](#) [検索](#)

給水用具の設計・開発・製造
株式会社 タブチ

〒547-0023 大阪市平野区瓜破南2丁目1番56号
TEL 06-6708-0150 (代) FAX 06-6708-0210

寺内会長から各クラブに「勝利者賞」「敢闘賞」「演武賞」を手渡し、15年ぶりに勝利をおさめたアメリカンフットボール部の砂川主将がお礼の言葉を述べて終了した。

「関大寄席2012」 大好評のうちに満席

前号（第570号）でご案内した「関大寄席2012」は、大好評のうちに満席となり、募集を締め切りましたので、お知らせします。

平成24年度全国組織代表者会議を開催 「活性化のための創意工夫」をテーマに

62の地域支部が7分科会に分かれ活発に討議

平成24年度全国組織代表者会議が、7月7日午後1時から「活性化のための創意工夫」をテーマに、100周年記念会館等を会場に開催された。

23年度は、所管する組織部として「地域支部活性化プロジェクトチーム」を結成して、不活発支部を中心に、支部の役員、世話人等に連絡をとり、役員会に向いて活性化のための助言や本部からの支援策を説明する活動を推進したため、2年ぶりの開催となった。

今回も出席を地域支部に限定、支部長・副支部長など役員、幹事長・事務局長など実務者、次世代を担う若手幹事の構成で、各支部3人以内での参加を求めたところ、62支部132人と本部役員など総勢180余人が出席。セレモニーの後、少数人数の7分科会に分かれて、支部活動や運営での独自の創意工夫について活発な討議を行った。



池松知永子・谷康司組織部
役員の司会で進行。田中義昭
副会長が開会の言葉を述べ、
学歌斉唱、来賓紹介があり、
寺内俊太郎会長が挨拶。

寺内会長は、「全国各地の
支部からご出席いただき、感
謝申し上げます。日頃の皆さん
の活躍が母校の発展に寄与し
ており、私も各地の支部総会
に伺って、皆さんの物心両面
に亘つての母校を支える気持
ちに触れ、それをエネルギーと
して本部での活動をさせてい
ただいていることを、お礼申
し上げたい。

本日は、躍進しようとする
母校を更に力強く支えるため

具体的に何をなすべきかを話
し合っていた機会であり、
また、日頃より広範囲の地域
の皆さんと交流し、地域間の
コミュニケーションを作ってい
ただく機会でもある。その礎
を築く一日になるよう願って
いる」と述べ、続いて学術・
文化・スポーツでの最近の関
大関係者の活躍を紹介。最後
に、「この4年間、会長として
皆さんと話をさせていただ
いた。ご意見を十分に反映でき
ているとは思わないが、本日
も様々なご意見をいただき、
また皆さんも勉強していただ
き、更に充実した活動を展開
できるよう願っている」と会

議での熱心な討議に期待を表
明した。

来賓挨拶で、上原洋允理事
長は、「40万以上の卒業生を
擁する校友会は、大学にとつ
ては大きな支持団体であり、
校友会と教育後援会の活動
は、法人にとって大変心強い
ものである。校友会から法人
に入って6年になるが、皆さ
んの期待に応えるような形の
大学にしなければと、日々決
意を新たにしている。

私が願っているのは、校友
の皆さんが願っていることと
一緒です。出身した母校が、
更に一段と社会に認められ、
世界に認められる大学になっ
てほしいという思いです。たと
え時間がかかっても、固い決
意を持ち、それに取り組んで
いくことが大事だと思ってい
る。

学術・文化・スポーツどの
分野でも負けない大学になっ
ていくため、校友の皆さんの
お力添えをお願いする」と協
力を要請した。

また、楠見晴重学長は、「3
日前の7月4日に学長選挙が
あり、再選させていただいた。
3年間の実績を評価していた
だいた、信任いただいたと嬉
しく思っている。同時に他候
補に投票された票は批判の声

と真摯に受けとめ、次期4年
間の大学運営に生かしてい
きたい。関西大学の学是は『正
義を権力より護れ』ですが、
その精神に則り、更に公正で
開かれた大学運営を法人と教
学が協調して進めていきたい。
工学部に入学以来、約40年間
関大にお世話になり、教員、
職員、先輩、後輩、友人など
多くの方々に支えられてきた。
大学で生まれた縁『学縁』に
感謝し、大切にして関西大学
をより高いステージに発展さ
せていくため、関大人の誇り
にかけて精一杯頑張りたい」と
今後の抱負を述べた。

この後、出席者は100周年
記念会館と校友・父母会館
の会議室を会場に7つの分科
会に分かれ、事前に実施した
アンケートをもとに、支部の
充実発展、広報活動の充実、
財政問題、地域との連携、本
部への要望など、共通して抱
える課題につき、約1時間半
に亘り少数人数で活発な討議を
重ねた（内容は別稿参照）。

分科会終了後、100周年
記念会館ホールで開催された
懇親会でも、参加者は、渡邊
泰之組織部長の開宴挨拶の
後、熱心に意見交換や情報交
換を繰り広げ、代表者会議で
の成果を支部に持ち帰ること
となった。

分科会報告

第1分科会

(出席支部＝阿倍野、生野、北、此花、城東、住吉、大阪中央、鶴見、天王寺)

総会案内の方法と実際について

機関紙「関大」への封入は利用している支部が多い。総会案内はパンフやアンケートにより告知しており、マンション・団地等には、役員がポストインを実施の支部もある。出欠やアンケートの回答率は支部によりバラツキがあるが、平均10%前後であり、新規会員は数名。

SNS(フェイスブック＝FBなど)について

支部のFBを立ち上げている支部もあるが、運営は一部役員に頼っているのが現状で、FBについては支部活動として取り入れるメリット・デメリットについて出席者から質問もあった。

支部名簿の管理について

年1回宛名ラベルを本部から提供してもらえることはほぼ浸透しており、本部データに支部の独自情報を加え、名

簿を整備している支部も多い。

新卒者は就職後、所在が安定するのに時間がかかり、若年者の住所不明者が多いとの意見があった。

組織の充実について

地域との融和や目玉事業、新規事業等を取り入れ、支部の存在の啓蒙や広報に努めている、近隣支部や知り合った関大関係の他団体とのつながりを大切にしている、若年の会員へは負担を減額、総会参加の若年者は幹事に登用している、など。

近隣支部や職域会との交流について

近隣支部の総会では相互に出席しているところが多い。また、共同の事業や見学会、コンペ等も開催している。ゴルフは一部単独で実施しているが、大阪市内支部連合会の大会に参加の支部も多い。今年5回目。

なお、安直な合同開催というのは支部力を下げる、単独開催による人材発掘が必要との意見があった。

広報活動の充実について

本部のサーバーを使って支部のHPを開設できることを

改めて伝えたが、既にHPやブログをしている支部もあった。情報発信については、HPの他に会報を発行している支部もある。

財政問題について

年会費は0～3千円、納入者は30～40人が平均。最大で80人の支部もあった。徴収は総会時で、総会会費を含む支部もある。振込用紙を同封し事前振込の支部もある。

社会連携活動について

関大リサーチ・アトリエ(天神橋筋商店街)、区役所開大会との連携や、市民祭り、ボランティア活動への参加などがあった。

本部への要望等について

郵便振替口座の取得困難の事情の解消を求める、支部長と共に校友会長の証明が必要、住所データのデータでの支給を求めたい、併せて更新レスポンスを向上させて欲しい、大阪市内に関大校友のくつろげる場所が欲しい、本部HPに支部役員や全校友の名簿連絡先へ、各支部役員がアクセスできれば便利、校友会の年間行事掲載をもっと早めに、更新会費について説明が不十分では、更新会員以外にも何らかの情報提

供が必要、など。

(広報部 小坂圭二)

第2分科会

(出席支部＝西淀川、東住吉、東淀川、平野、福島、都島)

まず、各支部が現状を報告

西淀川

総会の案内は、当初3年ほど696人全員に送付していたが、現在は100人ほどに絞った。総会には40人が参加、支部会費は徴収せず、幹事の持ち出しで運営。

西淀川区長が関大卒なので区民祭りに参加、8つの神社の鳥居、社殿の20分の1の模型を作って展示発表し、関大のPRをしている。

東住吉

名簿の管理は幹事長。総会の案内は毎年100人ほどに郵送、次の案内があるかどうかの手紙を入れる。総会出席者は40人、当日会費は5千円、女性と初回参加者は無料。年会費は2千円で、45人が納入。

東淀川

校友の生きた名簿がほしい。ゴルフ同好会、歩こつ会、囲碁、将棋等を企画し、参加した人を総会に誘っている。

総会の案内は機関紙「関大」に同封。また、以前出席した人に電話をして誘う。総

会では、役員の持ち寄りで抽選会をしたり、軽音クラブに来てもらったりしている。

年会費は千円、34人が納入。寄付もいただき、お金はあるが人が集まらない。一度、渡邊部長にきていただきたい。

平野

幹事長は平成14年卒の若手。名前だけでなく実働してくれる人を役員にしている。また、若手会を結成し、「河内地区12支部」で、ゴルフ大会、ボウリング大会など活動している。支部も新年互例会、ゴルフ大会、PL花火大会見学、みかん狩り等に参加。

総会の案内は機関紙に同封と、郵送及び電話連絡。年会費2千円、50名が納入。名刺広告3千円。卸市場で果物を仕入れ、それをオークションにかけ、収益を財源にしている。

現役学生に校友会活動を知らしめ、卒業後、地域支部に参加するようPRすることを要望する。

福島

諸活動はゴルフ、歩こつ会、囲碁、将棋など。新聞を年1回発行し、これで総会を案内。校友710人に発送しているが、参加者は32人。年会費2千円、名刺広告1万円。

今年の総会には、関大のベリーグダンスサークルに来てもら

好評だった。総会時のイベント資料として、本部がいろいろ余興や講師など団体を提供してほしい。

都島 諸活動は総会、新年会、幹事会。

総会は鶴見支部と合同で、総会の案内は全校友1114人に発送、返信は50〜60通。団地には役員がポスティングもしている。全員に郵送は費用がかかるので来年は考えたい。

増員対策は、ハイキングや食事会等なにかを考えたい。年会費2千円、50人が納入。

以上、各支部の現状報告からは、どの支部も増員、特に若手、女性校友を増やす難しさに苦労している様子がうかがえた。

渡邊部長から増員等について次のようなアドバイスがあった。

名簿を使って若手会、女子会を作り、その運営を40代にしてみよう。実務は40代に振っていくこと。運営を若手会に任せる勇気が支部長に必要。名簿をどう生かすかは各支部の能力、まず飲み会やゴルフ等から始める。飲み食いは自腹でないと会は続かない。40代に来てもらうには支部活動のメリットを明確

に。母校愛だけでは来ない。地方都市は組織作りが進んでいる。大阪のほうが遅れており、改革せず、現状維持が多い。名簿の件やご意見があれば事務局にご連絡ください。組織部のメンバーが行きます。

また、本部への要望として、関大はPR不足だ。例えば、同志社の新島謙、慶応の福沢諭吉、早稲田の大隈重信のように、関大の児島惟謙を大きく取り上げ、私たちのバックボーンにしてほしい。日本拳法のOBで道場を運営しているの、社会貢献に対する支援をお願いしたい。などの意見が出た。

今年の代表者会議には、62団体約140人が参加したが、そのうち女性は5人。これが各支部の現状を表しているように思えた。

(広報部 三木允子)

第3分科会

(出席支部) 大阪狭山、柏原、河内長野、堺、高石、八尾、生駒、橋本)

総会案内の方法と実際に

総会案内では、若い卒業者にゆとりがなく、勧誘して

も入会しない、関大に誇りを持つ者が少ないのか、総会案内等送るが返事が少なく、案内無用の回答もある、などの意見がだされ、総会も、マンネリ化している、発足当時のメンバーが現在に至り、会員数が増えない、などの問題点を抱えながらも、様々な増員対策を実施し、

新規会員を60歳代にターゲット、夫人同伴を提案したところ、十数名のご婦人参加(大阪狭山)、今年の総会にJAZZバンドを企画、若い人が若干参加(高石)、家族が参加できるよう総会日程を土曜日昼に変更。また、7人の新規会員は機関紙「関大」に同封して勧誘(生駒)、P

Lの花火大会を会員獲得に利用、近隣支部も誘っている(河内長野)、今年橋本高校から関大受験80人、60人が入学した。校長先生を通じ接点を求める(橋本)、などの成果もあった。

組織の充実について

問題点は、転勤、引っ越し等で名簿の整理が追いつかない、組織を実質運営する人材が少なく、事務局がないなど。

取り組みとしては、河内12支部で近隣支部の交流を図

っている、平成17年河内長野支部の援助を受けて創立、近隣支部連合に参加している今回、若手会を設立(橋本)。

広報活動の充実について

HPを立ち上げたいが人材不足、SNSの利用も方法がわからない、フェイスブックの効果に疑問、などの意見がある一方、早くから関大のサーバーを利用しHPを立ち上げ活用、今後SNSも検討(堺)、若手会でフェイスブックを研究中(橋本)、地元イベントで関大をPR、地元FMでも放送(八尾)、などの取り組みがある。

財政問題について

年会費を安く(千円)しているが思うように集まらない(他支部は2千円〜3千円)。近隣との交流費等支部長に負担がかかるケースがあり、今後支部長の成り手がなくなる(富田林)、などの悩みを抱える支部もある。

総会の会費については、会員6千円、同伴3千円、子供千500円(生駒)と差を付けた、新卒生を無料招待したりしている。

また、支部事業の実施で、地域連携助成金制度やボランティア金制度を活用(橋本)している。



社会連携について

市民公開講座(わかりやすい市民講座2回/年)、異業種交流会、市民講座(町づくり大学)無料、熟年大学(有料)の開講や支部としての参加が報告された。

本部への要望等について

在住学生会員の名簿がほしい、関大の名をもっと全国に広める必要がある。スポーツ推薦を充実してほしい、支部の行事予定がわかりやすいよう「関大」の紙面をもっと大きく割いてほしい、など。

第3分科会では、支部によって組織が完成された支部とそうでない支部があり、活動の内容に開きを感じた。特に幹事長、事務局の重要性が支

部の活動に大きく作用している。

新規会員勧誘に新卒者は無関心。そのため各支部とも時間的・金銭的に余裕のある50、60代に絞っている傾向が見受けられる。

本部事務局や組織部に対し、財政的・事務的援助を最大限利用している支部と、していない支部があるように感じた。

(広報部 馬淵純一)

第4分科会

(出席支部＝池田、吹田、高槻・島本、豊中、豊能、箕面、茨木)

まず、各支部が現状を報告。

豊中 支部総会の案内状を機関紙に入れているが、なかなか見て貰えないので、案内状は別に送った方がよいので

はと考えている。HPもやっている。

豊能 年に3回、落語大学を開催して、一般も含めて約80人程を集めている。また、ゴルフ大会も行い、若手の参加者も増えてきている。

それと、趣味の会(歴史散策等)を開いて、老年代の参加を増やす事も検討している。

箕面 総会には、大学の応援団に来て貰い、場の盛り上げを行っている。又、福引大会もやり、会を盛り上げている。

人集めは、役員が毎年1人を連れて来る様にしている。これが大事な事と考えている。

茨木 総会には、家族を含め、約120人位集まり、内会員は、半数位です。毎年バスツアーを計画して実行している。主に、茨木市役所関係の会員が多いので、その方が中心で行っている。

高槻・島本 以前、機関紙に通信費(新聞の発行の¥2000)の用紙を入れていたのですが、今年から、校友会費を払っていない人には機関紙が行かないので困っている。会としては、年2回(懇親会と総会)開いている。

また、高槻祭りに参加をして、模擬店を出し関大高槻・島本支部の名を知らしめている。

る。HPもやっている。

吹田 口コミで人数を増やしている。また、若い人には会費を5千円にして参加しやすくしている。

HPも作り、校友会とのリンクも行っていきます。フェイスブックも若手がやっているが、なかなか老年代では難しい。催しとしては、河田先生に来て貰い講演会も企画している。

池田 総会の案内を2000出して、集まるのが30〜40人名です。以前、倉田市長がさつき会と言うのを作られていて、約60人いましたが、今は40人位になっている。特に若い会員が減ってきている。

催しとしては、ゴルフ大会を他の支部と行っている。

総括

フェイスブックの活用をもっと広めていったらどうか。特に若い人を集めるには有効かと思われる。

HPについては、なかなかメンテナンスが出来ないので、もっと若手の参加を望むことと、大学のERT関係の学生との交流(応援)も必要ではないか。

機関紙「関大」のイメージが暗い、若い人向けに成っていない、文字も古いのではないか。若い人が見ようとして

ない(内容的にも)、卒業したての人も見ようとする内容、例えば、大企業に勤めている人の記事があると、若い卒業生も、もっと勇気が出るのではないか、学長、前学長の紙面も出してほしい。

大学の現役のクラブとの交流をもっとするべきではないか。来て貰って、寸志を渡すことで、クラブの支援になるのではないか。

総会を地域・社会を含めた会にしてはどうか、関大の文化クラブの催しを有料で、支部の後押しで開くことで、お互いにメリットがあるのではないか。

クラブのOB会を校友会の組織にする事は出来ないか。

若い人は、なかなか休みの日は出にくい、総会を家族ぐるみで行ったら、もっと若い会員も増えるのではないか。

女子会員を増やす事に力を入れる。役員に女子会員を増やす。

関大の著名な先生方の講演会を支部で開いているが、これをもっと広めて行けば、関大の宣伝にもなると思う。

代議員会での懇親会は、参加費を安くして(2千円位)、もっと参加しやすくしてほしい。料理、酒は少なくて

良いので、大勢で逍遙歌を歌ってお開きをしたい。

(広報部 奥村正治)

第5分科会

(出席支部＝交野、四條畷、寝屋川、枚方、守口、京都、滋賀)

総括

新規の若手会員を増やすための各地域支部の努力が具体的なかつ詳細に発表され、熱心な議論の場となり、多くの参考となる意見や課題が出された。今後とも、このような機会があれば校友会組織の活性化に大いに役立つと感じた。

主な意見

枚方 支部長自らフェイスブックを使いこなし、若い校友とメール交換を重ね、女性も含めて総会への参加を実現した。しかし、イベントの企画等については若い世代と高齢世代との間のギャップが課題となっている。

京都 若い校友がせっかく参加しても、面白くないから次から参加しない。世代にかかわらず楽しんでもらうために、大学生のサークルに声をかけてペリーダンス等の発表をしてもらい、好評を得た。

守口

市役所の職域会と連



携をとって総会参加者を増やしている。

滋賀 広報誌をA4版に変更し、口座振替も導入するなど、新しい取り組みをしている。

寝屋川 総会の案内では、レセプションの内容をあえて告知せず、「サプライズ」とすることで楽しんでもらうという工夫をしている。

四條畷 会費徴収は、会員と直接顔を見て集めるようにしている。イベントも講演会をやめてチアガールを呼ぶなど楽しい企画を実践している。

(広報部 堤 勇二)

第6分科会

(出席支部＝神戸、明石、芦屋、尼崎、川西、宝塚、西宮、姫路、小野、神崎、丹波)

機関紙「関大」の利用について

神戸 校友会費支払者約3千500人に対し、総会案内を送付している。総会出席者は100人。総会案内は機関紙「関大」に入れているので、郵送費はかからない(西宮・明石・尼崎・宝塚も同じ。川西は知らなかった)

宝塚 各種案内を機関紙「関大」に入れていくことは継

続が大切と考える。毎年、5月に会費納入依頼、振込用紙、前期事業案内、各種案内返信ハガキを入れている。

伊丹 機関紙「関大」には是非、各種案内を入れたい。「関大」はみんな興味がある。「関大」が自宅に届いていない人には、校友会費(基本3万円、更新1万円)を支払うようにPRの必要がある。

伊丹市の2月のイベント「冬の元氣祭り」にバザーやダンスで参加。バザーの提供品募集は「関大」で伊丹市内校友に案内を送付している。また、「関大」を利用して「冬の元氣祭り」をPRしている。

会員の増強について

尼崎 「関大」7月号に総会案内を入れ、かつ尼崎支部からも個人宛に600人分総会案内を送付。

9月の総会に1回でも出席した校友へは総会案内の電話も入れている。総会参加者95人の内、最後の電話案内の効果で出席の校友は30～40人。総会案内の電話は名簿管理にも繋がる。

一度来て良かったなと思える総会なら、次回もまた来て貰える。応援団やチアガールを呼んだ総会は評判も良い。とにかく総会に来て貰えるよ

うに、何回も案内し努力することが大切。

総会で卒業50年の校友に關大特製「風呂敷」を呈呈した(7～8年前から実施し、次は私の番かな…)と皆楽しみにしている。

「老・壮・青相集う」が支部のコンセプト。50人程度の40歳以下(アンダー・フォーティ)が当支部では活躍している。

宝塚 地域支部が社会貢献を行うことにより、校友が支部活動に参加するようになるのでは。地域と結びつくことが大切であり、市や教育委員会、市民団体と連携していくのも必要と思う。

2010年より宝塚市在住・在勤の校友に社会貢献の一環として「いすい寄席」(2013年2月に3回目開催)を開催している。

支部校友200人程度に絞り、役員が直接家を訪問し、総会に5～6人が来てくれた。実際に校友宅を訪問し、総会参加を呼びかける地道な活動の継続が大切。

西宮 西宮市役所秀麗会(100人)に、西宮支部にも入って貰っている。西宮市長も関大校友。

市役所秀麗会の若手と年2回懇親会、ボウリング大会等

を行っており、市役所秀麗会の人には西宮支部のPRもして頂いている。職域との連携が支部活性化にはいいかも。

総会に応援団を呼び、活気溢れる総会を目指している。また、留学生支援も行っている。

西宮市民祭りに参加。西宮市民祭りは現役生の参加が必要なので、現役を駆り出し、関大法被を着て西宮市にアピールしている。現役とのパイプも若手集めには必要。

色んな所にアンテナを張ることが大切。

明石 予算が無いので、総会案内は平成卒業生にターゲットを絞って送付した。

職域団体は市役所しかない。明石市役所の関大会利用を考えてみる。

毎年、明石大蔵海岸でバイキングをしている。若手が来るので継続していく。

神崎 10月に支部総会(25人程度参加)、ゴルフ大会を年3回開催している。

総会時に地元の名士が1時間講演し、内容を支部会報紙1月号に掲載している(次回は何かな…)と期待が持て、これは非常に好評。

若手や支部総会参加者の集め方は、幹部が直接面談し、支部の実情等を説明して幹部の熱意を見せることが大切。

小野 支部総会には30人程度が出席。若手(30～40代)はあまり来ない。総会に若手をどうして呼ぶかが課題。

バスで子供と一緒に若手も連れていけるので、スプリングフェスティバルで子供(小学生)の遊べるイベント開催希望。

芦屋 女子会を作っており、女子のイベント参加率も高い。4月の桜祭りにも模擬店を出店し、若い校友が手伝ってくれている。桜祭り参加により、芦屋市にも関大をアピールしている。桜祭りでは名簿に掲載されていない校友を4人見つけた。

バーベキューでは校友の奥さん(立命卒)が来て、その後、関大校友の主人が総会に来た。

丹波 「関大佐治スタジオ」への協力により、地域再生に取り組んでいる。

支部会員への広報活動について

組織部 HP立ち上げは難しい(出来る人と更新する人が必要)。今から立ち上げるなら、フェイスブックが良いか

も。フェイスブック立ち上げを行っている人を講師に派遣することも検討中。

芦屋 フェイスブックはHPより簡単なのでお薦めする。フェイスブックで桜祭りに2人来た。

宝塚 フェイスブックで若手に支部事業のPRを実施。アクセスは何人かあった。

(広報部 岡田美由記)

第7分科会

(出席支部) 愛知、愛知東、三重中勢、南勢、富山、神奈川、岡山、備後、島根、香川、徳島、愛媛、東予、高知)

総会の参加人数を増やしたり、若者や女性の支部活動への参加を促すために取り組ん



でいることや悩みについて、各支部、順に発言を求めた。

愛知 総会案内を全員に出すと年会費は集まるが送料がかさむため、出席者/返事あり/5年以内に支部年会費納入者に限って送付。

様々なイベントを開催して校友集めを目指したい。大学祭バスツアーには22人が参加した。

備後 市役所開大会の若者が多く総会に出席してくれて3割は平成卒。

総会プログラムへの広告掲載者に、プログラムと礼状を送り、来年の参加を呼びかけ。

富山 総会出席は約25人で固定化。総会開催日を考慮し、案内は最近5年の新卒者、過去10年間の総会出席者に限定。フェイスブック利用も検討。

高知 有力な大企業が少なく、銀行員、公務員が9割。職場の交流を総会出席につなげたい。地域貢献のために地元のイベントにも参加していきたい。

香川 13年来、総会参加は100人以上。4年に一度名簿を発行。その広告収入と年会費徴収で110万円が年間財政基盤。総会後写真集を作成し出席者に発送、四国88カ所を世界遺産登録する運動支

援など社会貢献も。

岡山 若者を動かすのは人脈づくり。銀行、生保関係にはメリット。職場の上司のひと声は参加を促す。若者だけで食事会やうどんツアーなども実施。

徳島 「遠隔地」「遠方」という表現を控えてほしい。徳島にリターン就職を希望する学生を支援。阿波踊りに参加する学生に着替え場所を無料で提供。

神奈川 300人に総会案内を発送。参加70人中平成卒は1/2人で定着せず。幹事が新参加者のホスト役。麻雀、囲碁等の会をつくり活発化を図っている。

東予 名簿を実態調査中。完成したら一度全員に総会の案内を発送したい。初参加者と女性参加費半額の5千円。40人はメールで案内。

南勢 松阪と伊勢が中心で、尾鷲などそれ以外は遠過ぎて出席不可。3年間返事がないと案内は中止。6年ごとに発行の会報を全員に発送すると年会費も集まる。

三重中勢 県内に4つの支部があり、我われの支部は40年前に消滅、4年前に復興したばかり。総会出席は約50人。総会の中味を吟味し内容を高めたい。

愛知東 若手の校友の参加が少ない。時代とともにメリットが変化して訴える力がなくないかも。本部のサポートはありがたい。フェイスブックも今後検討。

九州地区支部連合会

役員研修会報告

九州地区支部連合会(花田正利会長)は、花田氏が福岡千里会会長時代から「九州はひとつ」を合言葉に、沖縄を含む九州各支部の再建と充実に力を注ぎ、最近九州各支部の総会開催の揃い踏みが実現。地区の親睦事業として始めた支部対抗ゴルフ大会を機に、山口、広島も参加する連合会として活動している。

連合会では、この機会に各支部が一堂に会し、支部の現状報告と問題点や要望など意見交換を行い、今後、次世代へバトンタッチしていくための役員研修会を企画、1月21日に福岡市天神の平和楼で、福岡千里会、北九州支部、佐賀千里会、長崎支部、熊本県支部、大分千里会、沖縄支部、広島支部、山口千里会の9支部が出席して開催した。

本部からも田中義昭副会長、渡邊泰之組織部長、田中

最後に、本部の支部助成費制度や、宛名シール、新卒者や機関紙発送先名簿の提供などサポート体制を説明、活用を促した。(広報部 山本淑子)

義信副部長らが出席し、意見交換を行った。
24年度全国組織代表者会議の分科会で討議された内容とも重なり、貴重な意見、運営施策もあるため、この機会に併せて掲載することとした。

北九州 23年度総会は46人の参加(うち平成卒9、女性5)。総会案内は約330通、中に2千円の年会費振込票を同封。納入者80人。増員対策として役員、青年・女子部による電話勧誘を実施。若手会員の参加に効果あり。

総会以外では、青年・女子部会を年3回程度、ゴルフ同好会、カラオケ同好会、釣り同好会を年1回ずつ開催。また、会報を年1回11月頃に発行している。

今後は、青年・女子部の組織化、総会・支部報・新年会・ゴルフなど行事ごとに担当組織を作り、組織の活性化



を図りたい。新卒業生の確保も課題の一つ。

福岡

23年度総会は95人の参加（平成27・女性10）。総会案内に3千円の年会費振込票を同封。納入者120人。案内発送者は、年会費納入者及び過去の出席者約700通。企業関係にも手分けして面会に行き、関大出身者に出席を要請。平成卒・女性には、その年齢に近い者が電話し、効果をあげている。

総会以外では、ゴルフ会（年4回）、若手会（年数回）飲み会、野球観戦、関大同立交流など、その他有志会（月1～2回）

HPを開設しているが、有効的。会報は不定期にでも発

行を検討中。

本部には、支部への助成金額の増額をお願いしたい（総会出席者に対する補助もあれば）。また、教育後援会とリンクして現役学生の支部総会への参加を啓蒙できればと思う。

佐賀

23年度総会は36人出席（平成7・女性3）。案内は本部から宛名リストを貰い全員に発送（370通程度）。3千円の年会費振込票を同封。39人納入。役員が個別に電話勧誘し5人ほど参加があった。警察、銀行関係にも参加依頼。また、飲食店経営の校友が職業柄校友に会う機会が多いことから、新規参加者の勧誘をお願いしている。

リピーターを確保するために魅力ある企画を立案することが課題。次回案内には、簡単なニュースを掲載したい。

総会以外では、佐賀青春歌祭への参加とゴルフ会。今後は、県内各地区で持ち回りの忘年会など企画できればと考えている。

本部には、寮歌祭のPRに協力願いたい（賞品など）。

長崎 総会出席者は平均20～30人。案内は、こ

れまで返事があつた校友を中心に約120通、往復はがきで案内。長崎市役所などを通じて勧誘したいが、個人情報保護により情報入手できない。新聞広告を検討中。年会費は主に総会時に徴収、42人。

総会以外の行事としては、「長崎くんち」に出展し支部および大学のPRをしたい。

本部には、地元の祭などに関大ブースを出展した際に関係資料の送付をお願いしたい。

熊本 23年度総会は40人の出席（平成8・女性1・現役4）。案内は345通で3千円の年会費振込票を同封。48人納入。数年に1回は在住校友全員に案内、他はこれまでの状況から判断。郵送費削減のためメール便のほかファックスやメールも利用。増員対策として個別に電話。団体では警察関係に依頼しているが、今後は企業にも取り組みたい。

総会以外では、ゴルフ（年2回）、忘年会（若手会中心）。今後の運営では、幹事の人数を増やして役割分担を行い、執行部の活性化をはかるとともに、女性幹事を増やして女子会を設立したい。

HPを開設したいが、どういう準備、予算が必要か、金額のかからない方法などがわからない。

本部には、校友子弟の推薦入学制度の実現をお願いしたい。

大分

23年度総会出席は33人（平成6・女性2）。平成卒、女性校友には懇親会費を安く設定。また、総会写真を出席者に郵送、年会費納入者に総会資料とお礼状を送付するなど、つながりが切れないようにしている。大分合同新聞夕刊の「同窓会欄」に総会の様子を掲載。

案内は655通で3千円の年会費振込票を同封。48人納入。総会には強引に勧誘せず、毎年総会を開催しているということをまず知ってもらい、地道に声掛けをしていく方針。また、大分銀行、大分市役所に千里会があるが、あまり協力的ではない。

なお、支部役員は会長、副会長5人、会計、事務局4人など25人いるが、本年度役員改選でスリム化をはかる予定。

宮崎

役員構成は、会長、副会長2人、会計、幹事3人。幹事に女性を登用。役員に初めて平成卒を登用でき、フェイスブックなど、若い人ならではのアイデアで校友を募りはじめています。

ここ数年で女性校友の出席があり、これを機会に今までの在り方を変えなければと試

制御盤配電盤製作・計装、電気工事



共栄電器工業株式会社

代表取締役 柳 楽 信 義

本社 〒660-0815
尼崎市杭瀬北新町1丁目16番1号
電話 (6481) 8807番(代) FAX (6482) 7172
東京営業所
及工場 〒177-0033
東京都練馬区高野台2丁目6番16号
電話 東京 (3904) 1521番 FAX (3904) 3430
ホームページ <http://www.kyouei-d.co.jp>

関西大学・教育後援会・千寿会・一高・一中・幼稚園ご下命店
学・校章型署預(上用)謹製

厚生大臣賞受賞
日本食品衛生協会会長賞

和 洋 御 菓 子 司



株式会社 月 星

〒556-0011 大阪市浪速区難波中3丁目13番28号
電話 (06) 6641-1666(代) (06) 6641-6565(代)
FAX (06) 6647-6478・(06) 7662-6550

代表取締役 山 本 雅 己(S53学1法卒)

行錯誤している。より楽しい会にして、かつ、先輩が後輩の役に立つということを前面に出していきたい。

鹿児島 23年度総会出席者は22人（平成3・女性1）。

案内は540通。年により封書が往復はがきで案内。団体では鹿児島信用金庫に声かけ。総会以外では、万世特攻慰霊祭に参加。

今後の活動としては、平成卒の会の開催、県内各地区で地域支部、職域会の設立を図りたい。

本部には、物故校友の連絡をしているので名簿より削除されたい。

沖縄 23年度総会は17人の出席（平成6・女性1）。案内は約185人のリスト全員に往復はがきで発送。2千円の年会費も口座を記載して振込依頼。約30人納入。個別に電話、メールでの勧誘も実施。

会員には年賀状を送付。また、役員に平成卒3人を登用、若手連携の率先啓発を委ねている。

大学には、地方での大学による社会・文化的貢献活動をお願いしたい。

山口 23年度総会は37人の出席（平成3・女性3）。山口県は東西に長く、各支部（岩国、柳井、周南、防府、

山口、萩・長門・美弥、宇部・小野田、下関）に分け、各支部持ち回りで総会を開催していた。現在は新山口駅前で開催している。

案内は約700通で、2千円の年会費振込票を同封。100人納入。出席要請は、官公庁へは支部校友議員に依頼、企業等は経営者、上司校友に依頼。ほか個別に電話連絡も行っている。

総会以外ではゴルフ。今後、女性会、若手会など新設したい。

広島 23年度総会は61人の出席（平成14・女性4）。支部報、2千円の年会費振込票を同封した封書をメール便で発送。約1400通（うち200〜250通が戻る）。年会費納入は123人。

返事がない人、会費未納者など精査して、会報の同封も併せて毎年の案内発送を検討するが、やはり地道に案内告知を継続していくほかない。

また、毎年、ホテルで総会を開催しているが、会場を変更して会費を安くし、参加者の拡大をしたいとの意見もある。

総会以外では、ゴルフ（年5回）、女性の会（不定期、過去3回）、旅行会（過去2回）。

なお、広島支部では、毎月

第3金曜日に「三金会」を開催している。会費3千円程度の懇親会で、若手を集める目的もあったが、現在では60歳以上の参加者も増えている。支部校友へのフォローはじめ、支部活動におけるすべての役割を担っている。

本部への要望としては、機関紙「関大」1月号の全校友への発送を再検討願いたい（1月号で支部のスケジュールや会員募集など行ってきたので）。

その他、支部報の記念号を発行の折、企業からの広告収入が見込めないため、個人の名前や簡単なメッセージを添えることができる名刺広告（10千円）を募ったところ72人からの申し込みがあった。

支部では、他支部総会への参加をこれまで役員の自己負担で行っていたが、役員全員が他支部総会へ交代で参加できるよう、交通費および総会参加費を支部会計から支給することとした。

昨年、東広島市や西条市在住校友によって「東広島千里会」が設立された。広島支部内の地域支部として見守ると同時に、広島で懸念されている「呉支部」もこれに併せて再構築したいと考えている。

ラボ子ども英語指導者募集中

子育てしながらもう一度、自分を輝かせる仕事があります。

「ラボ・チューター」になりませんか？

子どもと絵本が大好きな方にぴったりの英語を生かしたライフワークです。

ラボ子ども英語指導者（チューター）は、絵本・物語を英語と日本語で楽しみながら、子どもの言語力・社会力・国際コミュニケーション力を育む教育活動「Labo Party」の指導者です。自宅でわが子と楽しみながら、絵本で子育てができ、英語のスキルアップが図れます。

通常授業以外にも、野外キャンプや海外ホームステイの引率など、単なる英語教室の先生とはまったく違う豊かな活動内容は、子どものみならず、あなた自身の可能性もどんどん広げていきます。

開設初年度指導料収入の保証など、スタート時のバックアップ制度も充実しており、安心して始められます。

少しでも興味をお持ちの方は、ぜひ資料をご請求ください。

資料のご請求方法 頂いた個人情報は、資料の発送およびラボ・チューターに関する情報提供に利用させていただきます。

ホームページから
<http://www.labo-party.jp>
とURLを直接入力 または
ラボ・パーティ 検索

携帯電話から
右記のQRコードからアクセス
「何でお知りになりましたか？」欄に
「関西大学」と入力ください。



フリーダイヤルから
0120-808743
までお電話下さい。

とばがこどもの未来をつくる
Labo Party
Since 1966
株式会社ラボ教育センター
〒160-0023
東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル
全国各地で説明会開催中！

「関西大学校友会産学サークル」の構築を目指して

連携プロデューサーの企業訪問—ものづくりの現場のいま—

7

機能性を創造する

細田工業株式会社

細田工業株式会社は、洗浄、殺菌、加熱、冷却そして異物除去など食品加工に関する装置および生産ラインの開発、設計、製造、販売、メンテナンスを行う食品加工機械メーカーです。食品素材の生命力を活かすことを基本コンセプトとした装置開発に取り組んでいます。常にユーザーの要望の一步先を提案する食品加工機械メーカーであるために絶えず進歩するソフト、ハード両面の習得と研究に邁進し、細田工業とユーザーが一体となって創り上げたこだわりの発想を装置として具現化しています。近年は、食品加工メーカーと共同で特許の出願、取得にも取り組んでいます。

しています。

野菜の洗浄では、細田工業の基盤技術である野菜洗浄技術は多くのユーザーから高い評価を獲得しています。食品加工において水は欠かすことができません。細田工業の製品は、水を操作し、食品素材の特性を最大限に活かした加工方法を実現しています。野菜の洗浄は、食品素材の鮮度のことを考え、持ち味をくすさず、おいしさをそのままに洗浄する全自動回転

槽が生産ラインの中核を担っています。レタスなどの葉物野菜向けのカット野菜の自動洗浄機は、水槽内で渦のような水流を発生させ野菜を流しながら洗浄します。現在、大手コンビニエンスストアや総菜メーカー、外食チェーンの加工工場向けに国内シェアが約50%になっています。

ボイル、冷却、解凍では、ソフトな水流で、短時間で均一解凍を可能にした冷凍食品素材用の水流冷凍ブロック解凍装置を開発しています。水槽にらせん状の水流を発生させてエビや肉などの食品素材の冷凍ブロックを水中で動かしながら解凍します。

創業以来、茹麺（ゆでめん）機や冷凍ブロック解凍機、野菜洗浄機などの開発、製造に注力しています。食品素材ごとに最適な加工、計量、洗浄などの方法を把握した装置開発は、ユーザーの要望を超えた装置を生む独自の開発力で食品の高い鮮度と品質を求める食品加工メーカーの製造現場をサポート



原料に優しい洗浄方法の導入



食品の乾燥しきりに変わったボイル装置



解凍が可能なサニタリーコンベア



水の流れを活かした異物除去や解凍

茹麺では、麺の投入、茹で方、冷やし方、そして計量など生産ラインのトータルバランスを追求したボイル槽、冷却槽および玉取機で構成した茹麺製造ラインを開発しています。うどん—玉分の計量は、いままでは茹でる前の計量が主流であったが、まとめて茹でた後の計量を可能にしたことで茹麺の業界で導入実績を着実に増やしています。

人々が口にする食品の加工を行うため、製品は常に清潔でなければなりません。そのため、製品は衛生面のことを考え、清掃のしやすいシンプルな構造で、かつメンテナンスも容易な装置を開発しています。

今年（2012年）2月1日、世界120カ国に放映されているNHK国際放送「NEWS Line」の「日本のモノづくり力、最先端の技術を世界に紹介する特集シリーズ」で細田工業の野菜洗浄技術を結集し開発した水流攪拌式モヤシ洗浄ライン、スパイラル式モヤシ洗浄ラインが取り上げられました。全長約30mにも及ぶラインは、7機種の全9工程から構成されており、洗浄から殻取り、根切り、除水、異物検知までの全工程を自動搬送したまやし生産システムです。もやし洗浄の新しい装置で国内外の大手ユーザーで採用が相次いでいます。今後、もやしをはじめ新鮮野菜を食べる習慣を持つ韓国を中心とした海外展開を

図るとともに、製品の高い機能性をアピールする戦略で新たな市場開拓を目指しています。

細田工業は、ユーザーの要望を超えた付加価値の高い装置を提供するため、持てる資本を最も重要な部分である開発と販売に集中させ、技術開発と装置開発に取り組んでいます。装置を製造し、提供するだけのものづくりでなく、食品素材を活かす製品設計情報を創造し、つくりこむものづくりを展開しています。ものづくりの概念を生産現場のみに閉じ込めることなく開発や販売の現場まで広がりをもつものづくりを進め、現状の延長線上にある装置の開発はもとより、各種ユーザー企業とのさらなる共同開発に取り組むことで新製品の開発につなげています。



① 投入ステージ

② 投入コンベア

③ もやしスパイラルウォッシュマン

所在地：〒581-0063 大阪府八尾市太子堂2丁目2-28

代表者：代表取締役社長 細田 信昭

TEL：072-994-1684

FAX：072-994-1642

<http://www.hosoda.jp>

どんな小さな芽であっても可能性を大切にします

大洋ナット工業株式会社

大洋ナット工業株式会社は、冷間圧造・自動ねじきり加工による締結用部品を製造、販売しています。締結用部品は、ボルト・ナット、子ねじ、タッピンねじ、木ねじなどねじ山が施されたねじ部品の総称です。一般にねじと呼び部材と部材を締結、固着する最も身近で使い慣れた機械部品です。

大洋ナット工業は、これらの締結用部品のなかで多種多様なナットを中心に製造する専門メーカーです。ナットは、他の機器とひとつに結び付いた時にはじめて機能し、そしてそれらの機器もまた優れたナットを得てこそ機能します。生産する製品群の95%は、個々の目的に応じたデザインと機能を持つ受注生産品であり、残りの5%は、JIS表示許可工場として生産する規格品です。

大洋ナット工業の製品は、自動車をはじめ建設、家電を中心に幅広い産業分野に提供されています。顧客のニーズを大切に、各ユーザーと直接コンタクトして受注、製造し、納品するケースがほとんどです。ニーズの中で最もウエイトの大きいのは、自動車関連製品のナットとパ

ーツで自動車の心臓部であるエンジン部分に多く用いられています。さらに一般建築から運輸、交通関連まで広範囲な分野でも高いウエイトを占めています。たとえば、新幹線、大型橋梁などに使われています。ナットに関することならどんな小さな課題（芽）であっても可能性を大切にしたいものづくりを進めています。いずれの製品も社内の厳しい品質管理によるチェック体制によって国内でも、海外でも

厚い信頼を獲得しています。

時代の最先端の動向とくく自然にとけあつことのできる大洋ナット工業の技術と経営は、先見性、合理性、市場性および信頼性に支えられています。最先端の動向を的確に把握する先見性、基盤技術を駆使する合理性、ニーズを着実に実現する市場性そして高品質を追求する信頼性を常に目指しています。たとえば、先見性に立脚した合理性を設備面では、積極的に最新の機器の導入による生産設備ラインを整備し、可能な限りのFA化、ロボットロニクス化を推進しています。大洋ナット工業のものづくりの基盤技術である冷間圧造技術に基づくパーツホーマー（冷間鍛造設備）が充実しており、製品の直径が5ミリメートルから40ミリメートル、長さが15ミリメートルから150ミリメートルまでの大きさで材質は、鉄鋼、ステンレス、アルミニウム、銅合金などのナットとパーツの製造、量産化技術を確立しています。いま、新たなビジネスチャンスとして自動車の変革のなかで基盤技術である冷間圧造技術が展開できるものづくりに挑んでいます。たとえば、動力の転換による部品の切り替え、軽量化のための材料の加工技術の開発などが鍵となっています。

最近、冷間圧造技術を高度化した新工法を開発しました。自動車の座席や窓に使用されている小型モーターの主軸は一般的に棒鋼よ



質、材料の歩留まり率の向上およびコストダウンを実現しました。これからも技術の高度化による企業体質の強化は必須項目であると考えています。冷間圧造技術をさらに高度化したネットシェイブ鍛造に関する技術開発を進めるとともに、デジタル技術で世界中の技術が平準化されつつあるいま、切削加工など他の加工技術を併用した独自のものづくりを新しい発想と情熱で展開し、高品質、高付加価値化およびコストダウンの実現を図り、新たな市場開拓を目指しています。

ナットを提供する専門メーカーとしての社会的責任を自覚し、「毎日いい気分で、カッコよく、キレイにカイツキに暮らす」そんな三つのKのために大洋ナット工業は、製品にも、その製品を生み出すものづくりの現場にも、人の心のぬくもりが生きる「ハート&クオリティ」を大切に価値ある製品を製造、提供することにより社会に貢献し、ナットの未来を見つめるものづくり企業であり続けます。

所在地…〒639-1042 奈良県大和郡山市小泉町2515-1
代表者…代表取締役社長 池田 栄治
TEL…0743-5816066
FAX…0745-7414745
<http://www.taiyo-nt.com/>

次号は、株式会社柏木モールド（奈良県香芝市）およびバイオニクス株式会社（大阪市淀川区）の予定です。

（校友会連携プロデューサー 田中久仁雄）
「連携プロデューサーの企業訪問―ものづくりの現場のいま―」のバックナンバーは、いつでも活用できるよう、関西大学校友会ホームページ「社会との交流と連携」に掲載しています。新たな発想が広がることを期待いたします。



学校法人関西大学 次期評議員 95人決まる

任期は24年10月1日から4年間

9月末日で任期満了となる学校法人関西大学の次期評議員の選任については、学校法人関西大学寄附行為(平成24年5月31日施行)および同附属規則に基づいて進められ、このほど新評議員が決まった。

大学の教育職員、事務職員、校友、学識経験者などの各選出区分ごとに推薦手続きが進められ、7月中旬には候補者名簿を評議員選考委員会の児玉憲夫議長あてに通知。これを受けて評議員選考委員会では慎重審議を重ね、95人の新評議員を選出、8月27日に児玉議長が理事会に通告し、次期評議員が確定した。9月14日から24日の間、千里山キャンパスの関西大学会館1階受付横に公示される。

選ばれた95人の構成は、職員からの選出25人(大学教育職員16人、高等学校・中学校・小学校・幼稚園教育職員から4人、事

務職員から5人)、校友からの選出50人、学識経験者からの選出20人。任期は24年10月1日から4年間。

新評議員による臨時評議員会は、10月1日に開催され、評議員会議長・副議長が選任されることになっている。

なお、学長を除く大学の役職者や学識経験者等から選出される理事(25人)については、9月18日開催の理事選考委員会において選任され、校友の評議員から選出される理事(10人)については、10月1日開催の評議員理事選考委員会にて選任される。そして、同日開催される臨時理事会において理事長、常勤役員等が臨時評議員会において監事が、それぞれ選任され、これをもって新体制が発足する運びとなる。

新評議員名簿は次のとおり(敬称略)。

職員からの評議員 25人

大学教育職員(16人)	大学教育職員(16人)	大学教育職員(16人)	大学教育職員(16人)
今西 康人	大学院法務研	今西 康人	大学院法務研
宇恵 勝也	商学部教授	宇恵 勝也	商学部教授
上島 紳一	総合情報学部	上島 紳一	総合情報学部
奥 和義	政策創造学部	奥 和義	政策創造学部
奥 純	文学部教授	奥 純	文学部教授
榎原 正澄	経済学部教授	榎原 正澄	経済学部教授
柴 健次	大学院会計研	柴 健次	大学院会計研

矢野 秀利	社会学部教授	矢野 秀利	社会学部教授
吉田 栄司	法学部教授	吉田 栄司	法学部教授
新	高等学校、中学校、小学校及び幼稚園教育職員(4人)	新	高等学校、中学校、小学校及び幼稚園教育職員(4人)
田中 明文	初等部教諭	田中 明文	初等部教諭
田中 敦夫	北陽中学校教諭	田中 敦夫	北陽中学校教諭
西村 吉輝	第一高等学校教諭	西村 吉輝	第一高等学校教諭
三ツ石悦久	第一高等学校教諭	三ツ石悦久	第一高等学校教諭

事務職員(5人)	事務職員(5人)	事務職員(5人)	事務職員(5人)
川畑 一成	大学本部付局	川畑 一成	大学本部付局
重田 勝紀	管財局長	重田 勝紀	管財局長
土橋 良一	学事局長	土橋 良一	学事局長
森 茂実	学生サービスマネージャー	森 茂実	学生サービスマネージャー
横山 博行	広報室長	横山 博行	広報室長

校友からの評議員 50人

式会社コノミヤ代表取締役社長	式会社コノミヤ代表取締役社長	式会社コノミヤ代表取締役社長	式会社コノミヤ代表取締役社長
岩崎 圭祐(平6学法)	式会社阪神住建代表取締役	岩崎 圭祐(平6学法)	式会社阪神住建代表取締役
大谷 啓二(昭39学商)	式会社大谷賢三商店代表取締役会長	大谷 啓二(昭39学商)	式会社大谷賢三商店代表取締役会長
大東 恭治(昭57学法)	東恭治法律事務所 弁護士	大東 恭治(昭57学法)	東恭治法律事務所 弁護士
片山 久江(昭44学法)	山法律事務所 弁護士	片山 久江(昭44学法)	山法律事務所 弁護士
加藤 拓(昭40学工)	式会社ヒラク代表取締役	加藤 拓(昭40学工)	式会社ヒラク代表取締役
加藤 安宏(昭51学法)	とつ法律事務所 弁護士	加藤 安宏(昭51学法)	とつ法律事務所 弁護士
川北 文雄(昭40学法)	香川県副知事・前香川県信用保証協会会長	川北 文雄(昭40学法)	香川県副知事・前香川県信用保証協会会長
北川 俊治(昭45学法)	IW 自営業	北川 俊治(昭45学法)	IW 自営業
紀和 隆(昭39学工)	式会社紀和マシナリー代表取締役会長	紀和 隆(昭39学工)	式会社紀和マシナリー代表取締役会長
葛村 和正(昭51学工)	式会社ダイネット代表取締役	葛村 和正(昭51学工)	式会社ダイネット代表取締役
黒津 忠夫(昭39学文)	西エンベックス株式会社代表取締役	黒津 忠夫(昭39学文)	西エンベックス株式会社代表取締役
小坂 圭一(昭55学工)	興電機工業株式会社代表取締役社長	小坂 圭一(昭55学工)	興電機工業株式会社代表取締役社長
小谷 寛子(昭54学法)	小	小谷 寛子(昭54学法)	小

法人・教学のトップが校友国會議員・市長と懇談

母校への熱い思い語り、相互の交流も

初の試みである校友国會議員・市長と大学の法人・教学のトップとの懇談会が、7月20日午後6時から帝国ホテル大阪で開催され、国會議員7人全員と11人中10人の市長が出席。現在の活動状況、学生時代の思い出、母校への期待と要望など様々な話題で意見交換が行われるとともに、出席者相互の交流も図られた。



出席者は、国會議員が衆議院議員の中野寛成、西野あきら、谷畑孝、浜本宏、吉川政重の5人と参議院議員の北川一成、前川清成の2人。市長は、藤井寺・國下和男、摂津・森山一正、茨木・木本保平、河内長野・芝田啓治、加古川・樽本庄一、西宮・河野昌弘、淡路・門康彦、小野・蓬萊努、龜山・櫻井義之、刈谷・竹中良則の10人（神戸・矢田立郎市長は公務のため欠席）。大学からは、上原洋允理事長、池内啓三専務理事と楠見晴重学長、黒田勇副学長の4人が出席した。

懇談会は、池内専務理事の司会で進行し、まず出席者を順次紹介。続いて主催者の上原理事長が挨拶に立ち、「我が国は、外交面、内政面のいづれにおいても非常に重要な局面を迎えています。そのような難しい時期に、校友国會議員の皆さまが、国政の場で活躍になっておられる姿を見、誠に頼もしく、かつ誇りに思っております。

一方、地方自治体において

も、財政、福祉、教育問題等、取り組むべき課題が山積している大変な時期に、首長として11人もの校友の皆さまが、市民からの支持を得て、活躍になっておられることは、本学にとりまして誠に名誉なことであります。また、地方公務員として、多くの後輩が皆さまのもとで指導いただいていることについても、感謝申し上げます。

実は、校友国會議員の先生方とは、15年ほど前から、母校の繋がりで、毎年懇談の機会をいただいております。このたび、全国各地で活躍の市長の皆さまをも交えて、是非、一堂に会する機会を頂くことはできないかということで、今年初めて実現いたしました。

本日は、国政の動向や地方自治体の福祉、教育問題等について、色々とお話をうかがいたいと存じますし、また、母校の発展について、日ごろ感じておられることなど、忌憚のないご意見をお聞かせいただきたいと思います。

先生方もそれぞれ、母校・関西大学が更に充実発展してほしいと望んでおられるのは当然のこととして、私も校友の皆さまに対する責務として、一層努力しなければと決意しております。

私は、関西大学が全国の私大でトップクラスに入り、世界各国の一流大学と肩を並べられる大学にしたいと願っています。そのために、中長期行動計画のもとで大学の改革に取り組んでおります。大学は教育と研究の場であり、大学の評価を決めるのは、教職員と学生の「質」です。教育と研究を更に充実させて、世界を舞台に活躍する人材を育成することが、最重要であります。これからは、グローバル人材を育ててこそ、大学が社会的責任を果たしていると言えましよう。

本日お集まりの先生方には、これから国、自治体のため、一層活躍されることを期待しますと共に、母校の発展にも、是非お力添えをいただきますようお願い申し上げます」と、開催の主旨を述べた。

7月4日の学長選挙で再選された楠見学長が、「関西大学は13の学部と12の大学院研究科、3つの専門職大学院があり、3万人の学生が学ぶ総合

大学となっています。今後4年間、この舵取りを任せられました。ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます」と挨拶して乾杯の音頭をとり開宴した。

食事をしながら暫し歓談の後、黒田副学長から、「関学の先生が、東京の会合で、あの高橋大輔君の関大ですかと言われて憤慨していた」とのエピソードを紹介しながら、人間健康学部3回生・東佳弘君のロンドンオリンピック出場など学生の活躍や文部科学省の補助金の増加など研究面での評価、現在推進しているハブ大学構想について説明があり、続いて出席の国會議員、市長が順次発言した。

出席者は、「このような機会を設けいただき、感謝している」と前置きし、「校友会支部の全面的支援で当選させていただいた」、「地方を廻ると全国に関大生があり、力強く感じた」、「わが市ではハイテク産業の製品からローソクまで生産している」、「校友経済人の協力で、淡路島で農業による雇用創出を進めている」、「私が市長になってから関大卒の職員が増えてきた。市役所開大会ではしっかり頑張れとハッパをかけている」、「教育のまちづくりを推進しているが、



4年制大学が1校もない。是非母校の進出を」など、現在の活動状況や、学生時代の思い出、母校への期待と要望などを語ったが、特に合格者が低迷する法科大学院については、「文科省は法科大学院を作りすぎたと反省しており、統廃合を検討している。関大の法科大学院が存続できるかは今後の取組次第」など、厳しい意見が出された。

意見を受けて、楠見学長が、「貴重な意見をお聞かせいただきました。多くは関大しつかりせよとお言葉だと思っております。関西法律学校として創立された関大。法学部、法務研究科については、先般も改革推進委員会から出され

た最終報告に基づき、新しい改革を実行すべく取り組んでもらっております。

一方、頑張っている学部も多く、例えば社会学部の大学院マスコミ専攻は、フランスの教育機関が日本で3番、アジアで7番の評価をしている。また、24年度の文部科学大臣科学技術賞では、私大受賞者11人のうち2人が関大教授です。

7月10日には、東日本大震災で町長はじめ職員の3分の1の方が亡くなられるなど大きな被害を受けた若手県大槌町に、連携協定の調印に行ってきました。ITを使って人材育成と雇用創出を行い、同町の復興を支援するものです。また、明日は台湾オフィス開所のため台湾に行きます。

本学では、社会連携を大きなテーマとしており、海外ではアジアを中心に、国内では各地の自治体と提携し、地域の課題を学生も含めて解決していくという取り組みに取り組んでおります」など現状を説明した。

最後に、上原理事長から、「本日お聞きした皆さんの熱い思いを、メッセージとしてお寄せいただきたい」と提案、記念撮影の後、散会となった。

校友国會議員・市長メッセージ

永遠の誇り、
わが母校・関西大学



衆議院議員
中野 寛成
(昭38学法)

母校の名は私たちにとって一生涯にわたり関わりが続くものです。

私にとっても、選挙の時、衆議院副議長や国務大臣への就任の時などに常に「関西大学卒」がついてまいります。

また、憲法調査会会長として憲法の議論をリードする時も関西大学で学んだ憲法論が基盤となっています。

国家公安委員会委員長就任の時の警察幹部への訓辞も「正義を権力から守れ」の精神を中心とするものでした。

私は「関大」出身で本当に良かったと心から誇りに思っています。

これからも益々「母校・関大」の名誉のために、誇りをもって頑張ります。

若者からも社会からも
最も期待される大学に



衆議院議員
西野 あきら
(昭38学法)

母校関西大学は創立126周年を迎え、校友40万人を超え、大学のキャンパスも5ヶ所、学部も13と、599の私大の中でも関西の雄としての位置づけに有り、さらにフィギュアスケートの高橋大輔さんを筆頭に幅広い分野で活躍しておられる母校の後輩たちを見ると誇らしい気持ちになります。

しかし、法律学校として創立し、輩出した校友諸氏が法曹界、経済界、政界（国會議員7人）等、各分野で早稲田、慶応や中央大学と更に伍していく必要が有ります。その為にも、優れた教授陣等の環境づくりに力点を置き、若者からも、社会からも、最も期待される大学に発展されることを祈念しております。

関西大学に乾杯！



衆議院議員
谷畑 孝
(昭45学法)

若き日に、人々の幸せのためにと政治を志し、平成元年の初当選から今日まで20年余り国會議員の仕事を務めさせて頂いて参りましたが、その中で驚かされ、かつ励まされたのは、社会のあらゆる分野で関西

大学の卒業生が多数活躍されていることにほかなりません。

今、日本は人類が誰も経験したことがないほど巨大な少子高齢化の波を受けて、想像を絶する変化と困難の時期を迎えております。このような難しい時代を迎え、21世紀にふさわしい「学の実化」の実践者としての関西大学が、今までに増して、日本を支え、活躍する多くの人材を輩出し続けることに、熱い期待と強い希望を持つものです。

教育・薫陶を心の糧に
国政で頑張っています



衆議院議員
浜本 宏
(昭54M法)

過日には、理事長、学長をはじめとする大学首脳部の先生方と私達7人の超党派校友国會議員および11人の校友地方自治体首長とが一堂に会する機会を与えていただき、誠にありがとうございました。近畿圏に校友の地方自治体首長が11人もいらつしやることを知り、改めて関大パワーの凄さを実感しました。次回は、校友地方議員の皆様にも是非お声をかけをいただければ幸いです。

内外ともに厳しい政治情勢にはありますが、私たち校友国會議員は、関西大学で受けた

大学・学生関係

教育・薫陶を心の糧に、この国の平和と安全と国民の幸せのために頑張つて参ります。

母校の益々のご発展と恩師・校友の皆さまの益々のご多幸を祈念し、メッセージいたします。

今も生き続ける 関大の4年間



衆議院議員
吉川 政重
(昭62学法)

私がはじめて関西大学を知ったのは、小学校3年生の頃でした。当時、私の学校の成績が芳しくないことを心配した父親が依頼して取引先の息子さんに2年間家庭教師として来ていただいたておりました。

その方が関大法学部 학생さんで、その方に初めて関大のキャンパスにお連れいただきました。広大な敷地と重厚な学舎に驚き、自分も将来は絶対に関大の学生になると心に決めました。

夢が叶って関大法学部に入學し、クラブ活動も将来の職業選択も考えて千里山法律学会に入部しました。このクラブ活動を中心に過ごした4年間の関大生活は、私にとって今なお何物にも代えがたい貴重な日々であり続けています。

母校関大のさらなる躍進を

心から祈念いたします。

母校関西大学に 思いを込めて



参議院議員
北川 一成
(昭40学文)

私は学生時代、別に不良をしていただけではないが、要するに“ぬるま湯”に浸かっていたと思う。まず、将来の職業に対する目標がなかった。研究材料に対しても、集中力に欠けていた。友人・仲間作りが苦手。この様に、暗くてどうにもならない“でくの坊学生”であった。

しかし、関西大学には素晴らしい先生が沢山おられた。私はその先生方に救われたと思っている。ある日、夜中の2時頃に電話を貰って、森鷗外の小説について1時間議論をしたことがあった。

今となれば忘れられない思い出であったが、それ以後の私の「人生や物事に対する思考形態」を決定づけた出来事であったと思えてならない。出来れば、もう一度関西大学で勉強したいと思う。

法科大学院の 立て直しを切望します



参議院議員
前川 清成
(昭60学法)

関西大学の合格者数は旧司法試験の時代、概ね全国ベスト10圏内にありました。

ところが、法科大学院が開校し、平成18年から新司法試験がスタートしましたが、以来、関西大学法科大学院の合格者数はようやく上位20校に滑り込む有様で、「関関同立」の中でも最下位に甘んじています。

人や、国に歴史があるように、学校にも歴史があります。私たちの母校は明治19年、「関西法律学校」として産声を上げました。以来126年、「権力の手から自由」を守るべく数多くの裁判官、弁護士、検事を輩出して参りました。

今こそが、関大法科大学院再生のラストチャンスです。一から作り直すつもりで法科大学院を立て直して欲しいと切望します。

藤井寺支部長として 支部活動の活性化を



藤井寺市長
國下 和男
(昭41学経)

先般の懇談会、大変有意義でありました。このような機会を持っていたき、厚く御礼申し上げます。

各先生方のお話は、母校関西大学を想う気持ちが随所にほとばしり出ていたように思います。

私が今、母校に対して何ができるのかを考えた時、校友会藤井寺支部長として支部活動を活発にし、若い人達に支部活動へ目を向けていただくことだと思いました。支部会員で活躍している若い人達の中には、支部に魅力が無いのではないかと、活動がマンネリ化しているのではないかというような意見があります。

今後は他支部の活動を参考に、藤井寺支部の活動を活発にしていきたいと思います。

結びに、母校関西大学の益々のご発展を心からお祈り申し上げます。

応援団での日々が 後の困難克服を導く



松津市長
森山 一正
(昭42学経)

昭和38年4月の入学式、正門前の真ん中で大きな団旗の下、威勢よく勧誘を行っていたのが応援団でありました。夢中になれるものを求めていた私は

一瞬で魅了され、応援団一色の生活へ。「何くそ負けるもんか」と我武者羅に挑戦した4年間でした。

初めての合宿で、先輩から叩き込まれた綱領「我ら関西大学応援団は常に愛校の精神に徹し……」を大声で唱和した時、自然と膝の上の手が震え目頭が熱くなったことが、今でも忘れられません。

その後の政治家人生でも多くの苦難を経験しましたが、関大OBとしての誇りや応援団での日々が私を奮い立たせ、その都度克服へと導いてくれました。

私の心のよりどころ、そして私を大きく育ててくれた母校関大が、日本屈指の総合大学として今後ますます発展するよう、心から願ってやみません。

「強い日本」つくる 人材の育成を期待



茨木市長
木本 保平
(昭42学文)

関西大学校友会の皆さまには、お元気で活躍のこととお喜び申し上げます。

私は、本年4月に第19代茨木市長に就任し、早や5か月になるつとしておりますが、魅力ある行政資源に満ちたポテンシャルの高いわがまち茨木の発

展をめざし、「スピード感」と「サービス精神」をもって改革を進め、住み続けたい夢がふれるまち「いばらき」の構築に努めております。

近年の社会情勢は、世界金融危機など、さまざまな分野で「世界の潮流」が押し寄せておりますが、母校「関西大学」におかれましては、こうした変化の激しい時代に対応できる人材育成に努められ、「強い関大」、ひいては「強い日本」を創り上げられますことを期待しております。

我ら関大魂



河内長野市長
芝田 啓治
(昭48学経)

私は、本年7月の河内長野市長選挙におきまして、関大校友会をはじめ市民の皆さまから力強いご支援と温かいご厚情を賜り、2期目の市政をスタートしました昭和48年経済学部卒業生です。

亡父芝田稔は、永年文学部中国文学科で奉職し、また、私の長男も社会学部の卒業生で、三代にわたって関西大学とは深い縁であります。

私は、父から『日々維新』という座右の銘を与えられ、今もこの言葉を胸に刻んで市政運営に努めております。

時代は日々刻々と変化し、その中で生きる私たちの生活も日々移る行くものであります。が、「かくすれば かくなるもの」と 知りながら やむにやまれぬ 関大魂の心境で、今後とも邁進してまいります。

文武両道の学び舎として 世紀の先端を担う大学に



神戸市長
矢田 立郎
(昭46学法)

隆盛を極める関西大学、時代の変化に即応し一貫校体制を採り、多分野に人材を輩出し国の明日を担う俊英達が活躍していく様相は、強い関大を目指し、歴代理事長が奮励努力された結果である。

我が日本国の大学は、欧州の大学の歴史に比するとき、遅ればせ乍ら千八百年後半以降、国を担う俊英を育み国家の体制を強固なものにしようと旧帝大を創立し始まった。

我が関西大学は、法曹の道を極めんとする俊英に門戸を開き、着実にその成果を挙げんが為私学として創設、以後司法界に幾多の人材を輩出し、関西大学の名を高めた。

現在は、総合大学として、また文武両道の学び舎として、21世紀の先端を担う大学として、関西大学の格段の発展を

願つ。

優秀な「女子力」で 魅力と底力のアップを



加古川市長
樽本 庄一
(昭38学商)

「女子力」が注目されています。先のロンドンオリンピックでも、日本人女性アスリートの活躍ぶりはめざましいものがありました。

スポーツ界だけではなく、政界から経済界、法曹界にいたるまで、日本人女性各界で活躍の場を広げています。そんな中、関西大学は、女子生徒の間で人気が高まっていると聞きます。少子化が進む今、この関大人気を活かして、より多くの優秀な女子生徒を獲得し、「女子力」によって、関西大学の魅力と底力をアップさせていってはいかがでしょうか。

結びに、関西大学の今後ますますのご発展と、関西大校友の皆さまのさらなるご活躍をお祈り申し上げます。

應援團創設の目的に 市長の職責を照らす



西宮市長
河野 昌弘
(昭43学法)

私は、昭和39年に西宮市役

所に奉職後、直ちに第2部法学部に入學しました。「法科の関大で学び、仕事に生かしたい」という熱い思いで入學式に臨んだことを思い出します。

社会人と学生の二足のわらじを履き、應援歌を背に天六学舎に通い勉強した日々が、今では懐かしい思い出となっております。

卒業後、早や40年以上が経ちましたが、母校・関大関係者の皆さまのご声援を頂き、現職を拝命しております。関大應援團の創設目的に照らして私の今の職責を考えますと、「西宮市民の安寧生活を願い、はたまた職員に対しては日夜職務に精励できるよう援助・激励すること」と学ばせていただいております。母校・関大の限りない発展を心より祈念申し上げます。

文化の香りで更なる イメージアップを！



淡路市長
門 康彦
(昭43学文)

昭和39年の春、当時、芥川賞に一番近いところにいると言われていた関西大学文芸部、「千里山文学」。正門から当時の法文学部学舎に上がる地獄坂の横に在った、尚志館の部屋を覗いてから50年近く経ちま

した。散る桜が部室の窓から風に吹かれて舞い込んでいた記憶が鮮明です。

文学の世界は、どうしても東京に押されがちですが、行間の密度を読み取ることが出来る感性は、本来、京都を始めとした関西の特質であったはずで。一般の学問の他に、人としての魅力を含め、併せて学府の資質向上を目指して、現役の学生から文学の世界に飛躍する人材を期待し、ぶれないエールを贈ります。カイザー関大！

社会の継続的發展支える 「強い関西大学」の構築を



小野市長
蓬萊 務
(昭44学経)

社会経済情勢が厳しさを増す中、好むと好まざるにかかわらず、自治体間においても競争が避けて通れない時代に入っています。小野市では、「行政も経営」と捉え、民間のTQCを行政に導入し、4つの経営戦略「顧客満足度志向」「成果主義」「オンリーワン」「後手から先手管理」を基軸に、生き残りではなく、勝ち残りを目指し、行政運営を進めています。

創立126年目を迎えた我が母校においても、大学間競争

を勝ち抜き、21世紀社会の継続的發展を支える総合大学として、「強い関西大学」の構築を目指し益々発展するとともに、40万校友の皆さまの更なるご活躍を心から祈念いたします。

時代の変化に挑み 進化続ける大学に



亀山市長
櫻井 義之
(昭61学社)

我が母校・関西大学の長きにわたる歴史のなかで、輝かしい伝統を築きあげてこられた歴代の法人役員ならびに学長はじめ教職員の皆さま、先輩諸兄・後輩の皆さまに敬意と感謝を申し上げます。

卒業後4半世紀を迎えた今日、母校の頼もしい活動や校友会の強い絆に接するたびに、無意識のうちに刻まれたのである。この校風「質実剛健」の精神が呼び起こされ、また同級生との学び語らいの青く愉快な場面が甦るなど、年々感慨に存じます。

時代は大きな変革期にあります。母校・関大が、その変化に挑まれ進化し続けることを願ってやみません。関西大学のさらなるご発展をお祈りいたしております。

身に染みた校風と伝統で 原理原則大切に行政運営



刈谷市長
竹中 良則
(昭42学商)

早いもので、関西大学を卒業してから45年が過ぎました。大阪で過ごした4年間の学生生活が、私の人生の柱の一つになっていることを実感しています。

平成19年7月、縁あって愛知県刈谷市長となり、現在2期目を迎えました。変化の激しい社会経済状況の中での行財政運営は、大変難しく、試行錯誤を繰り返して、原理原則を大切にしながら、将来を見据え、その時々において最善の選択をすることを心がけております。

これも、創立125周年を経た関西大学の「真理の探求」の校風や伝統文化が、私の中にも染み込んでいるのではないかと思います。

震災被害の岩手県大槌町と連携協定

IT技術で人材育成と雇用創出を支援

関西大学と岩手県大槌町は、連携協力に関する協定を締結し、7月10日に大槌町で協定書の調印式を行った。

この連携協定は、大槌町の人的資源を育成し、新産業を創生するとともに、雇用創出プロジェクトを推進することを目的に締結されたもので、具体的には、スマートフォンアプリケーシ

ョンプログラミング育成と起業支援を主な事業内容とし、(1)IT関連技術者の人材育成教育、(2)地域人材によるIT企業の起業支援、(3)ニアショア開発の地としての大槌ブランド形成支援の3つの段階で構成される「岩手県大槌町におけるIT教育、および新規雇用創出による自律的復興支援プロジェクト」を展開

することになっている。

大槌町は、東日本大震災で町長はじめ職員の3分の1もの人が亡くなられるなど大きな被害を受けたところで、人口の10%以上が減少している。

調印式で大槌町の碓川豊町長は「若者の流出は町の大きな課題。人材育成、起業支援という具体的な取り組みは大変ありがたい。心から期待している」と述べ、楠見晴重学長も「教育・研究機関として、人材育成という形で復興を最大限支援したい」と、この連携に対する強い決意を述べた。

なお、大学では、この連携事業が成功したあかつきには、基本モデルとなる成功事例として、他地域での展開も視野に入れている。

台湾オフィスを開所 4カ所目の海外拠点

7月21日、楠見学長らが出席して、台湾・高雄市の正修科技大学内に設置した関西大学台湾オフィスの開所式が行われた。同オフィスは、台湾における関西大学の拠点として、今年4月、海外協定大学のひとつであ

ネット契約で保険料を節約！まずはお見積から。

自動車保険 **そんぽ24**

<http://www.union-sv.com/car>

海外旅行保険 **OFF**
損保ジャパン

<http://www.union-sv.com/travel>

関西大学生協グループ

保険代理店事業部・事務機器事業部
総合保険代理店

Risk Consultant & Financial Planner
株式会社 ユニオンサービス

info@union-sv.com <http://www.union-sv.com>

本社・豊中営業所 豊中市新千里北町2-20-8/吹田営業所 吹田市佐井寺4-43-8/関大支店 吹田市千里山東3-10-1 関大生協内 TEL0120-50-5421



り、選ばれたのは49件だった。取組名称は「考え、表現し、発信する力」を培うライティングノキャリア支援、取組期間は平成24年度～28年度。

（株）関大パンセを設立 法人の全額出資で

学校法人関西大学の全額出資による事業会社「株式会社関大パンセ」が8月1日に設立された。

正修科技科大学内に設置した海外オフィスで、関西大学としては4カ所目の海外拠点。
今後、留学生別科をはじめとする外国人留学生の募集活動、台湾の協定大学などとの学術交流、関西大学の情報発信を積極的に展開するほか、台湾在住校友との交流促進を図り、台湾との一層の交流・発展に寄与していくことにしている。

大学間連携共同教育 推進事業に採択

文部科学省の平成24年度「大学間連携共同教育推進事業」に、関西大学と津田塾大学の連携取組として申請していた「考え、表現し、発信する力」を培うライティングノキャリア支援」が採択された。全国の国公私立大学等から153件の申請があ

社名のパンセは、仏語で「思想」「考慮」の意。パスカルの箴言集『パンセ』の中に、関西大学の校章に冠されている「葦」についての一文「人間は考える葦である」が記載されている。

来春、政策創造学部 国際アジア法政策学科

関西大学では、政策創造学部に来年4月、法と社会を学ぶことを通じてアジアを含めた国際社会を理解することができ「国際アジア法政策学科」を開設する（8月末に開設に関する届出書類を文部科学省へ送付）。

新学科開設に伴い、入学定員は現在の政策学科350人が、政策学科270人、国際アジア法政策学科80人に変更される。2013年度募集は、「一般入学試験」「センター利用入学試験」「外国人学部留学生入学試験」で行う予定。

第5回氷の甲子園開く 高橋大輔らが演技披露

8月4日と5日に高槻キャンパスアイスアリーナで、第5回「氷の甲子園」ジュニアフィギュアスケート演技会およびトップスケーターによるエキシビションが開催された。

演技会では、小学生から高校



生までの約60人が、ジュニア、ノービスA、ノービスBの3クラスに分かれて日頃の練習の成果を披露し、上位者にはメダルと表彰状が授与された。

またエキシビションでは、体育会アイススケート部に所属する高橋大輔（M2）、織田信成（M2）、町田樹文（4）らトップスケーターによる華麗な演技が披露され、約500人の観衆を魅了した。

北陽キャンパスの 体育館地鎮祭挙行

老朽化した北陽高校・中学校の体育館の建替えと、あわせて



グラウンド等の整備が24年度から25年度にかけて進められることになり、9月3日、上原理事長、楠見学長、鈴木北陽高校・中学校校長や法人・大学関係者、PTA・同窓会役員、工事関係者など60余人が出席して地鎮祭が挙行された。

建設される体育館は、鉄骨鉄筋コンクリート造4階建てで、屋内温水プールを含めた多様なスポーツ施設と1300人が収容できる講堂を備えている。また、グラウンドには陸上トラック部分を除いてほぼ全面に人工芝が敷き詰められることになっている。

総事業費20億にのぼる今回の教育環境整備に当たり、大学では目標額4億円の「学の実化促進募金」関西大学北陽高等学校・北陽中学校体育館事業募金」を募集している。詳細は資金課（06―6368―1137）まで。

体育会空手道部の清水希容が

世界選手権女子個人形で優勝

7月13日にスロバキアで開催されたFISU第8回世界大学空手道選手権大会で、空手道部の清水希容（文1）が、女子個人形の部で優勝を飾った。

清水は、4月29日の第46回関西学生空手道個人選手権大会と7月1日の第56回全日本学生空手道選手権大会の優勝に引き続き、今季3度目の優勝。



同大会では、今春卒業した梶川凜美（平24学文）が2連覇を達成しており、大学としては3連覇となった。

射撃部女子が学生選抜V 山川は世界選手権出場へ

7月7～8日に大阪府能勢町のライフル射撃場で開催された第8回日本学生選抜ライフル射撃選手権大会で、射撃部が女子団体で2年ぶり3回目の総合優勝を飾った。

昨年この大会で日大に敗れ、秋のインカレでは明治大に敗れたため、今大会は、勝ちに拘った戦いだった。山川七海（文4）、松本靖世（文4）、黄瀬優



稀（文3）、永田聖菜美（外3）、柿沼彩（政策2）のレギュラーメンバーは、よく頑張ってくれた。これで3冠、2年ぶりの5冠制覇に向けて、秋季リーグに備えたいと思っている。



なお、今大会は、世界大学射撃選手権大会派遣選手選考会を兼ねており、山川が9月にロシアのカザンで行われる世界大学射撃選手権大会へ出場することになった。関大射撃部からこの10年間で、ユニバーシアード大会など国際大会に出場するのは8人目となる。先輩たちに負けないよう健闘を祈っている。

（監督 女川 隆）

千里山法律学会が 立論の部で2位

6月16日に開催された春期関西学生法律討論会で、千里山法律学会が立論の部で2位を受賞した。

また、個人では質問の部で大内裕士（法3）が2位となった。

英語研究部の木村 2大会で3位入賞

6月10日に立命館大学びわこ・くさつキャンパスで開催されたALL WEST JAPAN英語弁論大会で、英語研究部の木村玲央奈（外3）が第3位に入賞した。木村は、7月15日に同志社大学今出川校地室町キャンパスで開催された第39回新島杯争奪全日本学生英語弁論大会でも第3位を獲得した。

ユネスコ研究部 サマースクール

ユネスコ研究部では、子どもたちにユネスコの活動を知ってもらい、違う学校の児童や大学生と遊ぶことによって視野を広げる、夏休みの思い出をつくることなどを目的に、「サマースクール」を開催しており、第3回を8月9～10日に能勢町の歌垣小学校で開催した。

能勢児童会館の子ども21人と部員31人、更に教育委員会や同校の先生、大阪ユネスコ協会の武田事務局長、東浦OB会長らに参加いただいた。

2日間にわたり、教室内ではユネスコを紹介する人形劇やお菓子の家づくり、世界遺産カルタ大会ほかを、屋外では二人三脚、玉入れやスリカ割りなど盛り



り沢山の催しを行った。2日目は子どもたちも仲良く協力的になり、成果があがった活動となった。（主将・大坪、総務・光宗）

中等部の宮原知子が ジュニアGPで初優勝

9月1日、アメリカのレイクブラシッドで開催されたフィギュアスケートのジュニア・グランプリ（GP）シリーズ第2戦で、関西大学中等部アイススケート部の宮原知子（3年）が写真中央が優勝を飾った。

宮原は、ショートプログラム（SP）に続いてフリーも1位となり、合計161・65点をマーク、同シリーズの初優勝となった。

また、同大会に出場した中等部の本田太一（2年）は、7位入賞を果たした。





川北文雄支部長

こんにちは！

香川

支部です。

地域に根差した活動で活路
元気な香川と香川支部を目指して



▲香川支部総会風景

「元気な香川支部・考動力あふれる関大」をモットーに独自の活動で地域に根を下ろす香川支部。総会・懇親会は「確かめよう青春・深めよう友情・高めよう母校愛」を言葉に毎年100人以上の参加者が集まり、にぎやかに開かれる。再任されたばかりの川北文雄支部長（昭40法）＝元香川県副知事＝に元気の秘密を聞いた。聞き手は山下和彦校友（平2文）＝四国新聞記者＝。

―支部長続投が決まり、7期目がスタート。これまでに振り返って。

川北 二十数年、毎年100人以上が集まって総会を開くことができています。特に桂文枝師匠（当時は三枝師匠）をゲストに迎えた平成17年は188人が集まりました。最近では100人を切らないよう、総会準備会のメンバーには積極的に声掛けをお願いしている。

―支部活動を活発にするには財政面の安定化が必要だ。

川北 会員の皆さんからの会費も貴重だが、平成11年から4年に1度発行している支部会員名簿事業が支部の活動を支える



▲総会写真集と名簿。カラー刷り12ページの今年の総会写真集は総会の3日後、出席者全員に発送

屋台骨になっている。1800人の会員を収録しているが、広告協賛金として約300万円の収入がある。名簿の編集と発送経費100万円ほどを差し引くと、残りは200万円だが、これが4年間の活動資金だ。年間になると50万円になる。

―地元企業などから協賛金を募るわけだが、他の支部の皆さんからよく不思議がられる。

川北 懇親会と称して、ただ飲んで騒ぐだけでは理解は得られないだろう。しかし、支部会員の多彩な人材が縦に、あるいは横につながり、「香川の発展のために社会貢献していくこと」を前面に押し出せば、賛同してもらえる。「元気な香川」を支部のモットーとしているのは、そのためだ。会員同士の親睦を深めることも大切だが、地域に根差した活動を支部として打ち出していくこと、校友会の地方組織という側面だけでなく、地元のために汗をかく団体であることを社会にアピールしていくことが、支部のためにもなるし、ひいては関西大学のPRにもなる。

―具体的に

川北 香川県では数年前から「四国八

十八箇所霊場と遍路道」の世界遺産登録を目指す運動を展開しており、他の四国3県や地元経済団体、民間団体、NPOも動いている。こつた夢のある運動に香川支部としても積極的に関わってきたい。香川支部だけに限らず、四国のすべての支部が一丸になれるテーマでもある。

―若い会員にも支部活動にもっと参加してほしい。今年の総会には107人の参加でうち平成卒は32人、女性は7人だった。

川北 総会では仕事や趣味などで、つながりを享受できるメリットも大いに強調したい。支部会員には金融関係者や公務員、大学教授、弁護士、自営業、それに各分野のOBと、実にさまざまな職種で活躍する人材が豊富だ。若い世代には「おっさんばつかりの会」と思わず、香川でのビジネスチャンスやネットワークづくりに、支部の人脈を活用してもらいたい。

―支部をどう活性化していくか、悩みは尽きない。

川北 われわれも女子会、平成会と、活発に活動されている支部組織の運営手法をぜひ見習いたい。この機関誌「関大」で各地の支部の、さまざまなアイデアを取り上げてもらえれば、参考になるだろう。

香川支部メモ

大正13（1924）年7月に関西大学県人会として発足。昭和10（1935）年に校友会香川支部に改称。平成24（2012）年に創立88周年を迎えた。現在、会員名簿による会員数は1800人を超えている。年間の主な活動は総会、ゴルフコンペなど。

事務所は〒760-0065 香川県高松市朝日町5-4-27 金星タクシー内。電話087(821)7070、FAX087(821)7112。香川支部ホームページアドレスは<http://www.chyuo-net.com/koyukai/>

好友抄

二 大河原 健氏

テレビ「ナマ放送」時代の思い出



大河原 健氏（埼玉支部会員）

驚かれています。

学生時代のエピソードである。26年国文学科同期生23名のうち、「女子が5名」という多さで、他学部 of 学生たちに妬まれ、脅かされたこともあったという。

今回校友名簿で当時の男女の人数確認をしていると、大河原氏の同期生に小生が親しく交際している先輩方の名前が載っており、この奇遇に大河原氏共々驚いた次第である。詳しくは注釈（注2）で述べる。

さて、正門を入った左横に木立が茂り、その先にあつた学生食堂（西村食堂、現キヤリアセンター付近）はきれいでなかったが、何より安くてうまいが売りで、分量も多く貧乏学生たちにとってうれしい溜り場になっていた。

そしてクラブ活動は新聞部に所属された。学生自身による発行は好評で、下級生たちは広告掲載依頼に先輩方を回



学生時代

っていた。また、時には学友会で新聞部と応援団とは意見が対立することもあり、互いに意識しあっていたという。卒業論文は「小山内薫と自由劇場」をテーマとされた。演劇が好きだったからであつたが、飯田正一教授からはテーマの再考を求められた。演劇関係で就職（東映）も決まつており、必死に「デイスカッション」し合格となつた。文学部の卒論として「演劇」をテーマとして提出したのは私だけだったであろうと述懐された。「今は亡き飯田教授申し訳ございませんでした」と記されている。

【閑話休題】

昭和31年5月15日「関西大学新報」68号に飯田教授が「卒論審査の打ち明け話」を寄稿された。そこには、「昨年度の卒論提出は一部57編、二部39編あり、読み終えるのに何日かかるかと溜息がでる」「自分の専攻外が圧倒的に多いので、悲鳴を上げるのは我々である」「古典を避け近代文学が6割であつたのは我々の側にも問題があるのか」「3分の1近くが不可となつた」とあつた。

56年以前の興味深い記事が年史編纂室の協力により偶然手に入つた。大河原氏が飯田先生を悩ませたお一人であつたのかは詳らかではない。

昭和31年、東映の演出部（東京撮影所）に勤務された。この頃の映画スタッフは、「4階級制」であつた。新人はまずフォース（注3）から、次いでサード、セカンドと昇進し、チーフ、助監督、監督を、大河原氏は目指されていた。

助監督だった昭和39年、心ならずも東京オリピックの年に日本教育テレビ（NETテレビ）（注4）への出向が、

映画制作からテレビ制作への転機となる。

日本で初めてのモーニングショー「木島則夫モーニングショー」では現地レポーターを務められた。その後はワイドショーのディレクター（注5）となられたが、この時代の放送は全て「ナマ放送」である。



TV海外番組「オランダ」カメラアングルを確認中

テレビ朝日の「3時に会いましょう」の司会は「中原ひとみ」「藤尾（渡辺）とも子」が交代で出演していた。大変人気がある番組だったが、その分制作は忙しかったとのこと。歌のコーナーでの出来事である。「尾崎紀世彦」が「また逢う日まで」を歌う予定が、当日の朝、彼のマネージャーから大河原氏宅に電話が入り、「風邪で歌えない」と言ってきた。ナマ放送である、

穴があく。とっさにテレビ朝日の社長が「岸洋子」の後援会長だったのを思い出し、社長の自宅に電話をされた。結果は岸洋子がスケジュールを調整してくれ、「夜明けの歌」を歌い事なきを得たという。社長に直訴ができた当時は温かくファミリー的であったと強調されている。

また深夜放送「23時ショー」のプロデューサーのときだった。司会は「東八郎」、アシスタントは今や大歌手の「小林幸子」。読売テレビのこの時間帯は人気番組「11PM」をやっている。読売に負けるな、しかしスードはダメの命令。「いや苦しかった」と語られた。この番組の歌のコーナーでの出来事である。「いしだあゆみ」(注6)が「ブルーライトヨコハマ」を歌う予定をしていた。この時に初めて「演奏力ラオケ」を使用することとした。強調するが「初めてのテープ使用」である。彼女のマネージャーには伝えてあったが、彼女は聞いていないようであった。スタジオに来て、それまでとは違いバンドがないことに戸惑いと不安を感じたのだろう。演奏テープです、と



「23時ショー」の出演者たちと(後列右から3人目)

説明をしても納得してもらえず、「歌手を馬鹿にしているのですか」「帰らせてください」と本番15分前までもめたそうだった。そのときまたまた作曲家の「服部克久氏」があられ、大河原プロデューサーに「私がピアノ演奏しましうか?」と応じられたという。これにはスタッフも彼女も願ってもないことと大喜びし、一件落着いたのが本番10分前であった。緊張感あふれる体験である。確かにいつの頃からであったか、歌謡番組を観ているとテープ演奏が多くなり、歌手も「口パク」であるのが見て取れることが少なくなかった。しかし近年のバンド復活は雇用への対応からであるとも耳にする。ナマ番組時代であったからこそその緊張

感ある逸話である。

「ざつくばらん」という土曜日午前10時の情報番組でもプロデューサーを務められた。文化人、芸能人、作家の各界からの三人にざつくばらんに語り合ってもらうVTR収録番組である。「おんな大いに語るべし」のテーマで、ゲストは「向田邦子」、「曾野綾子」、「犬飼智子」。女性同士のゆえか、収録前の打合せは非常にスムーズで会話も弾んだ。

ところがいざ本番収録となると、「さつき話したように……」など打合せでの話からの引用で話される。そのためにフレッシュさがなくなっていた。思わぬ出来事が人も番組も育てていく。テレビ創成期ならではの色々な問題点が明らかに、次第に課題を克服されていった。

大河原氏が制作に携わった60年、70年代は、近年のテレビ界とは異なり、制作者たちが「まじめな番組づくり」「質の高い番組づくり」を意識されていたことを実感できた。良好なブライドの高さを持つておられるのを強く感じさせられた。懐かしい歌手、俳優、文化人たちの名前を目にし、和んだ心持にして戴いたことに感謝申し上げる。

《注 釈》

- (注1) 当時の阪急千里線では「豊津」の次は「花壇町」、「大学前」、終点「千里山」で折り返し運転となっていた。場所は「花壇町」駅は一高正門の踏切側にあり、「大学前」駅は大学前通りの踏切横にあった。昭和39年両駅が統合され「関大前」駅となる。
- (注2) 学生数は平成13年版校友名簿を参考にした。同期生欄に吉原栄徳氏、西川虎男氏が記載されていた。また大河原氏との会話から日根直人氏、奥村誠一氏、山本昇氏のお名前も伺った。
- (注3) 4階級の最下位であるフォースと、走り回るのが仕事であることから馬のホースを掛けた業界用語。
- (注4) 現在のテレビ朝日の前身で朝日新聞と東映が出資していた。東映・大川博社長が社名に教育という文言を入れるTV事業の認可を得たもの。
- (注5) ディレクターは番組の演出担当、プロデューサーは企画者で責任者。
- (注6) 昭和39年夏にテレビ映画の撮影で、いしだあゆみを第一グラウンドのスタンド辺りで見かけた。この頃、「スタンド付近」「円形音楽堂」「経済学部前木立」「屋外プール」などが映画撮影によく使われていた。

(副会長 田中 義昭)

■正規取扱メーカー／アルファロメオ・フィアット、シトロエン、ロータスカーズ、MG Rover、シボレー・スタークラフト、キャデラック、HAMMER、ケーターハム・スーパー7、モータン
 <その他取り扱い車種>メルセデスベンツ、BMW、ボルシェ、フェラーリ、フォルクスワーゲン、アウディ、ジャガー、ボルボ、ロールスロイス、ベントレー、ランチャ、マセラティ、プジョー、Mini、その他クラシックカー・欧州車全般

ジロン 自動車株式会社

昭和37年 商学部卒 会長 吉田尚司

<http://www.jiron-auto.co.jp>

ホームページ最新ニュース<What's New>毎日更新!

ジロン自動車 で 検索

〒556-0001大阪府大阪市浪速区下寺3-8-5 TEL.06-6644-0010 FAX.06-6644-0011
 ●営業時間:〈平日〉9:00~19:00 〈日祝〉10:00~19:00 年中無休 ※年末年始は除く

北から 南から 《各地支部だより》

交流会に15人、二次会に6人が参加
留学生校友も数年ぶりに出席し懇親

泰園千里会（中村良三会長）
は、6月22日にスクムウィット



界隈で、交流会を開催した。

15人ほどが参加し、今回は留学生校友のブンチャイさんが数年ぶりに参加し、また関大バンコク事務所のMs.Chutimaさんも同席するなど、おおいに盛り上がった。続く2次会（酔いどれ会）にも6人が参加、更なる懇親を深めた。

次は、7月22日にレガシーGで開催の関西7大学ゴルフ对抗戦です。皆さん頑張りましょう!! ゴルフだより参照

（幹事 安楽成司＝平元学社）
（安楽成司E-mail: anrakus@sss-cth.com）

台湾OB会と私の出会い
すべてが「関大」の縁

7月22日の夜、関大台湾OB会（李銘坤会長）の校友たちは、関大国際部のカイト由利子先生、松川健志氏、金村寿蘭氏と再会し、楽しく食事会を行った。その日の昼には、関大国際部は台北の国際貿易センターで



の日本留学展覧会に参加し、ご来場の方々に関大について紹介した。もちろん、関大台湾OB会の校友たちも何人か手伝いに行った。

実は、私の覚えている限りでは、卒業した後、母校を訪ねたことは1回しかない。当時のゼミの指導先生である加藤義忠氏や保田芳昭氏にもお会いすることとはなく、そして長い間、母校と連絡をとることもなかった。

ところが、ある日、私の書いた本を出版してくれた出版社を通して、先輩の莫素微氏と再び連絡がとれた。そして莫先輩を通して、今の関大台湾OB会に入会することになった。不思議なことに、現在の会長である李銘坤氏は、昔、私が日本語塾で教えた学生の父親でいらっしや

る。思い起こせば、莫先輩との再会や関大台湾OB会とのめぐり合いは、すべて「縁」だと言えるだろう。

関大台湾OB会に入り、今年で3年目になった。その中で、いろいろな活動を通じ、台湾にいる日本人や台湾人の先輩方や後輩たちと知り合うことができた。OB会に入ったことをきっかけに、母校の関大との交流も始まった。

そして、ようやく再び自分は関大人であることを深く感じる

支部創立90周年を盛大に祝う

記念事業として被災学生を支援

8月4日、広島、山口、九州各県支部および、関学、同志社、立命からの来賓19人と会員88人（新卒生4人）計107人



ようになった。卒業して帰国した後も、台湾で関大の先輩方や後輩たちと巡り会える事や、母校と様々な交流ができることはすべて関大台湾のOB会のおかげだと思つた。

このOB会を創立して下さった先輩方、そしていつも応援してくださる先輩方や後輩の皆様に、本当に心から感謝している。今後も皆様と一緒に、関大台湾OB会を応援していこうと思つております。

（李宜蓉・平4学商）

の出席を得て、グランドハイアット福岡にて福岡千里会（白木成光会長）が総会、支部創立90周年記念懇親会を開催した。

第1部総会では、司会の宮崎貴生幹事（平1学商）が開会を告げ、議長の白木会長（52院修会）が来賓への感謝とともに今年90周年を迎えるにあたり記念イベントとしての東日本大震災被災学生へのボランティアの主旨と協力依頼を行った。

議事では、事業報告と会計報告を出口禎次幹事長（51学工建）が行い、併せて監査報告を終えた。創設90周年に当たり、長年にわたり支部活動に功労を頂いた花田正利名誉会長（34学

経）、竹永健二郎氏（34学商）への感謝状の贈呈を行った後、花田名誉会長に講話を頂き、福岡支部（千里会）の長き歴史を学ぶ機会となった。

第2部の懇親会は、岡部薫副幹事長（61学工）と杉田智穂幹事（平2学工）が司会、開会挨拶と来賓紹介を渡辺美敏（48学法）副会長が行った。続いて花田九州地区支部連合会長と田中義昭校友会副会長から挨拶を頂き、東郷洋校友会事務局長の乾杯で宴へ入った。

初参加者の紹介後、東日本大震災被災学生支援イベントの主旨と募金状況を藤井真司幹事（57学法）が説明し、ソフトバンクホークスグッズ抽選会の売上でも募金に。また、被災学生への募金のために特別製作した2パターンのTシャツを披露し、参加OBから60枚の購入協力を頂いた。

このTシャツは北九州、佐賀に始まる各支部総会の際にも持ち参し、20〜30枚の単位で購入頂いている。なお、この企画は25年12月まで引き続き取り組む予定である。

その後、恒例のジャンケンゲームも開催され、話にも花が咲き、大いに懇親が図られる機会となった。宴はクライマックスを迎え、来賓の交流大学へのエール交換を行い、博多一本締め

で中締めとなった。

（岡部 薫＝昭61学工金）
（安藤造園土木・白木成光＝092―841―4141）

立命校友会を初招待 会員の初参加も2人

8月18日、長崎支部（濱脇哲夫支部長）では、校友の店、長崎市の銀鍋で24年度総会を開催した。

校友会本部、福岡千里会、山口千里会、佐賀千里会から役員をお招きし、今回は立命館大学長崎県校友会から横山正人氏にもご出席頂いた。支部会員は初参加2人を含め20人が出席した。

総会では、濱脇支部長の挨拶と活動報告、決算報告、新役員の紹介を行った。懇親会に入る前に田中校友会副会長から、大学及び校友会の現況についてお話があった。福岡千里会からはTシャツの販売幹旋があり、その収益金は被災した学生への義援金に充当するということで即時完売した。

懇親会では、1年振りに集う仲間とともに杯を交わし合い、来年の再会を約束するなど楽しい一時を過ごした。なお、龍踊りでも有名な「長崎くんち」で関大ブースを設け、母校の広報宣伝等を行うことで支部長提案があった。（会計 石本仁太郎）

（濱脇哲夫＝095―826―1314）

キャンパス写真を掲示 会員講話は「ドナー登録」

北九州支部（坂口勝利支部長）では、7月28日リーガロイヤルホテル小倉で総会を開催した。田中校友会副会長、花田九州地区支部連合会長をはじめ、福岡、山口、佐賀、熊本の各支部から来賓8人をお迎えし、支部校友40人（うち平成卒11人）、合計48人が出席した。

今井明美（56法）副支部長の英語による意表をついた開会スピーチが、会の雰囲気をもたらし、ものへとシフトさせた。そして、盛り上がり企画「現在の千里山キャンパス・その周辺」の写真30枚を会場内に掲示し「小島俊一さん（54経）のご好意で提

供されたもの。

先輩たちの声「何処か、ようわからん、変わったなあ〜」、後輩たちの声「へえ〜懐かしいなあ。あまり変わってないなあ〜」。これら写真は、会の盛り上げに大いに貢献した。

○盛り上がり企画 総会の恒例となった「校友による講話」に平成卒が初登場。野口智行さん（平8法）が、「ドナー（骨髄）登録しています！」という題目で、自身の骨髄を提供したその体験と想いを語り、ドナー登録を呼びかけた。

講話後の活発な質疑応答では、「もっと話を聴きたかった」との声が上がった。

○その他盛り上がり企画 初参加者等の紹介。昭和44年卒の大先輩から平成21年卒の美しい女性まで、今回は6人の校友が登壇。各々の自己紹介に大きな拍手で歓迎した。お待ちかねの抽選会。抽選会が始まって暫くして、「なぜ、自分は当たらないのか？」との先輩の声。「これで運を使い切らないようにということではないですか」と後輩の声。とその後、「やったー！」先輩の大きな声。良かったですねえ。

大震災支援チャリティ。福岡千里会が東日本大震災で被災した関大生の学費の一助とするために企画したもの。Tシャツ20枚程を販売。すぐに完

売となった。さすが！北九州支部。

締めは、やはり逍遙歌。榎田守男さん（47商）の口上、そして全員の大合唱。完全に決まった！（幹事長 西原正人・53学経）（西原正人＝093―771―5209）

4年連続で七夕総会 イワガキやそばを賞味

4年間連続して七夕の夜7月7日に鳥取支部（荒田英毅支部長）では総会・懇親の集いを開催した。

平成の卒業生の参加も増え、老若男女がやぶぎんの美味しい郷土料理に楽しいひと時を過ごした。特に鳥取の生のイワガキは絶品で、先輩が打った「因幡大国そば」も美味だった。

来年は支部設立60周年、第30回総会を記念し、盛大に開催す



ると決議した。

(幹事・上山 植木)

(上山忠久「0857」24—9
228)

創設8周年記念し善通寺管長が講演

役員改選では川北文雄支部長を再任

香川支部(川北文雄支部長)の24年度総会が7月28日、高松市のJ Rホテルクレメント高松であり、総勢107人(うち平成卒と現役は34人)が「確かめよう青春・深めよう友情・高めよう母校愛」を合言葉に集い、旧交を温めた。

今年は支部創立8周年を記念し、真言宗善通寺派管長(総本山善通寺法主)で四国八十八ヶ所霊場会総裁も務められる榎原

禅澄大僧正を特別ゲストに招いたほか、寺内俊太郎校友会長、高松市出身の上原洋允理事長、四国・岡山の各支部代表、松浦康隆立命館大学香川県校友会会長らを来賓に迎えた。

88周年にちなんで、榎原大僧正が「四国遍路にみる人生」と題して記念講演。「遍路道は山あり谷あり。お四国を歩けば、人生そのものを体験できる」と歩き遍路の素晴らしさを説いたほか、大僧正のご好意で「日日是好日」としたためられた直筆の色紙が出席者全員にプレゼントされるサプライズもあった。



総会では役員改選があり、川北支部長(40法)の再任が承認され、新体制がスタート。懇親会は、女性校友と初参加校友のスピーチのほか、かがわ源平紅白キャラバン隊によるアトラクション「さめぎ源平物語」が披露されるなど、終始和やか。現役4回生で第90代応援団副団長の藤川真志さん「高松市出身」のリードで逍遙歌を斉唱し、万歳三唱で締めくくった。

3日後には、総会の模様を記

録した記念写真集(A4判、12ページ)を「突貫編集」で仕上げ、出席者に発送した。

香川支部は、香川県人会として大正13(1924)年に発足。昭和10年に香川支部と名称を改め、現在に至っている。

(山下和彦)
(金星タクシー・川崎有二「087」821—7070、http://www.chyuo-net.com/koyukai/)

「剣道の美学」を学ぶ ベネット准教授が講演

岡山支部(行本章允支部長)の24年度・第56回総会を7月7日、岡山市内のホテルで開いた。夕方5時半開会で文字通り「七夕総会」となり、古川好男校友会副会長ら来賓を含め総勢75人が参加した。

総会審議では、来年度(25年度)の予算案に岡山支部平成俱



楽部に10万円の助成金を盛り込み、平成卒の若い校友の支部校友会への参加促進を図ることにした。

総会恒例の講演は、関大国際部のアレクサンダー・ベネット准教授をお招きした。ベネット先生はラグビーの本場、ニュージーランド出身だが、剣道や薙刀など日本古来の武道に精通されており、高松時代に千葉の高校に1年間ホームステイされたとき剣道を始めたということ、はじめは「汗臭い」「スパルタ指導」に抵抗感があったそうだが、やがて剣道の精神に魅了されたとのこと。

本国の大学を出た後、京大大学院で学ばれ日本滞在21年となるベネット先生。流暢な日本語で剣道の「残心」という、勝負のあとと油断することなく身構える態度のことを熱く語られた。

この「残心」、試合に勝っても驕らず、負けた相手思いやる精神もあり、インターハイで一本取った選手が思わずガッツポーズをしたため負けになったケースを例にあげた。ベネット先生の熱弁に参加者は改めて「剣道の美学」を学んだようだった。

講演の後にはゴルフとボウリングの優勝者の弁などがあり、逍遙歌で締めくくり来年1月19日の新年会での再会を約し、お開きとなった。

(行本章允)

(ユアーズコンサルティング「086」250—5592)

目黒の雅叙園で懇親会 4都県から17人が参加

昨年は震災の影響で行事を控えていたが、今年6月24日に東京目黒の雅叙園で首都圏支部校友会女子部の懇親会を開いた。

雅叙園は歴史が古く、中でも「百段階段」は東京都有形文化財に指定されており、内装も一段と趣向をこらしているホテル。当日は、東京、神奈川、埼玉、千葉の4都県、上は昭和29年卒から17人の校友の参加があった。ホテルでの昼食後、ガイド付きで「百段階段」を見学、襖絵、天井絵等、歴史を伝える装飾に感動、その後ホテルの喫茶ルームでお喋りタイム、時間がもう少し欲しいとの声もあり、楽しい一時だった。

次回またお会いできる事を楽しみに散会した。

(昭37文 小林寿子)



平成23年度 1級建築士 設計製図試験

当学院
教室開講都道府県
合格者占有率

No.1

合格者の半数以上は当学院の受講生!!

51.7%

当学院教室開講都道府県合格者 4,369名中 2,259名

関西大学 平成23年度 1級建築士合格者

卒業合格者 **51名中、30名が**
当学院の講座を利用して合格されました!

※当学院教室開講都道府県合格者数は、(財)建築技術教育普及センター発表の受験番号より算出。※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。※上記「当学院開講都道府県合格者占有率」には、1級設計製図講座を開講していない青森県、岩手県、秋田県、鳥取県、島根県、愛媛県、高知県、佐賀県、長崎県、宮崎県、沖縄県の合格者は含んでおりません。※上記エリアから開講の当学院開講教室にて受講し合格された方は、合格実績に含んでおりません。

平成23年度 2級建築士 試験

学科試験	設計製図試験
2級建築士 学科関連コース 当学院受講生 基準達成者 合格率 97.1% 9割出席・9割宿題提出・模擬試験60点以上受講生615名中、合格者597名	2級建築士 設計製図合格対策コース 当学院受講生 基準達成者 合格率 82.3% 9割出席・9割宿題提出・模擬試験ランクA受講生141名中、合格者116名

平成23年度 宅建 試験

学科試験	設計製図試験
当学院受講生 基準達成者 合格率 92.5% 基準達成受講生40名中、合格者37名	当学院受講生 基準達成者 合格率 85.7% 基準達成受講生21名中、合格者18名

平成23年度 1級建築施工管理技術検定

学科試験	実地試験
当学院受講生 基準達成者 合格率 88.8% 9割出席・9割宿題提出・受講生160名中、合格者142名	当学院受講生 基準達成者 合格率 83.2% 9割出席・9割宿題提出・模擬基準達成受講生184名中、合格者153名

※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。

開講講座 無料体験入学実施中! お気軽に下記最寄校まで!

1級・2級 建築士	1級・2級 建築施工管理技士
宅地建物取引主任者	インテリアコーディネーター

株式会社 総合資格

(社)日本経済団体連合会会員
(社)日本建築学会会員
(社)全国産業人能力開発団体連合会会員

株式会社 総合資格学院 法定講習センター

国土交通大臣登録講習機関 一級建築士定期講習 登録番号 第5号
二級建築士定期講習 登録番号 第4号
管理建築士講習 登録番号 第2号

総合資格学院

梅田校 TEL.06-6374-1411	神戸校 TEL.078-241-1711
新大阪校 TEL.06-6101-1911	姫路校 TEL.079-224-1411
京橋校 TEL.06-6882-8211	京都校 TEL.075-352-3011
なんば校 TEL.06-6648-5511	草津校 TEL.077-566-6911
堺校 TEL.072-222-9311	奈良校 TEL.0742-30-1511
高槻校 TEL.072-686-6711	

今すぐウェブ検索 ケータイサイトも充実

総合資格 検索 <http://gakuin.jp/>

www.shikaku.co.jp

学院長 岸 隆司 (法48卒)

勢いある支部構築したい
桂文枝の公演で母校PR

富山県支部(山本勝徳支部長・45歳)の24年度総会・懇親会は、7月28日に富山市のオーグスカナルパークホテル富山で開き、20人が参加した。全員で学歌を斉唱し、議事に入った。

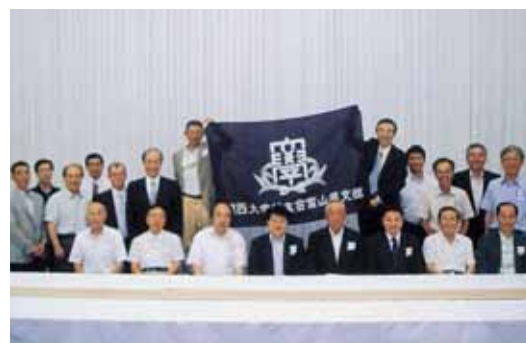
山本支部長は、支部の歩みや現状に触れ、「勢いのある支部を築き、母校の発展に寄与したい」と挨拶。高橋正幹事長(47歳)が本年度からスタートした年会費の納付状況を報告したほか、会則の一部改正を承認した。

本年度の活動方針として、総会への参加者増、年会費の納入促進、現役学生らの活動支援を決めた。次期総会も富山市で開催するほか、10月21日、六代目桂文枝襲名披露富山公演を祝い、会場にスタンド生花を飾り、

母校および校友会支部をアピールすることも決めた。

来賓挨拶では、古川好男校友会副会長が、サッカーのゴールキーパーとして出場したメルボルン五輪(昭和31年)の体験を基に、大学のスポーツ施設拡充や選手・指導者育成の必要性を力説された。

懇親会に移り、来賓の烟勝美



事務局長代行が乾杯を発声。平成卒校友のスピーチをはじめ、今回初企画のお楽しみ抽選会で盛り上がった。長尾治明校友(52院社)が中締めし、再会を約束して閉会した。

(幹事長 高橋 正)

高橋 正 〇七六―四七五―五七二六

過去最高の出席者
女性が増えれば:

24年度・第5回和歌山支部(田中昭彦支部長)総会は、本部から田中副会長らを迎え、82人の出席者を得て無事終了した。

今年度は、通常総会としては過去一番の人数となり、参加者の年齢構成もバランスのとれた良い形になった。

賢沢を言いつく、もう少し女性会員が増えれば嬉しいのだが。お陰様で再建以来5年が経過

したが、今後ともがんばっていくので、よろしく願います。

(副支部長 野井大史)

長谷川冷機・赤井雅哉 〇七三―四三六―二一五五

セミナーとジャズのタベ
次はハイキングと寄席

宝塚支部(兼丸秀樹支部長)の「宝塚の歴史を訪ねる会」では、6月16日に「源平合戦と宝



塚」と題しセミナーを開催した。

NHKの大河ドラマ「平清盛」にちなみ、源氏と平氏が覇権を争う時代に焦点を当て、多田神社、満願寺、中山寺、清荒神など、その舞台を宝塚と近隣に絞り込んだ内容である。興味深い話に質問が続出し、時間を超過して、いつもながらの校友・直宮講師のわかりやすい説明に、楽しい学びのひとときを



持つことが出来た。

7月21日には「ジャズとワインの夕べ」を開催。阪急逆瀬川駅前の「びすとろYOSHIDA」のマスター吉田さん(47商)の厚意により、支部会員のためのジャズセッションで、3人のミュージシャンの生演奏の醍醐味の中で、美味しいお酒と料理、そしてライブを楽しんだ。演奏者のうち、サクスの前田実さん(平10法)とも交流が出来て会員一同大いに盛り上がった。

今年度後期には次の2事業を予定している。是非ご参加下さい。

○ハイキングの会 10月21日(日) 9時45分、阪急電車中山駅・山側改札口⇨中山連山の一般的なコースで、奥の院から清荒神へと眼下に宝塚の町並みを、遠くに大阪平野を望みながら、快適なコースを歩く。総会

案内と併せてお送りするチラシにてお知らせ致します。

○葦水寄席 25年2月17日(日)で調整中。昨年も大好評の関西大学落語大学OBによる落語で、第3回目となる。市民の方へも参加を呼びかける。

開催場所等詳しくは、機関紙「関大」1月号への折り込みチラシにてお知らせします。

(平15文 児玉美知子)
参加申込み先は事務局(塚本寿一税理士事務所)0797-8511491まで

新支部長に佐藤幸平氏 食処淡路島でBB総会

8月18日18時から淡路島の淡路支部(野添忠支部長)は、寺内校友会長、山田徳島支部長、鈴木明石関大クラブ会長、大蔵神戸支部副幹事長らを来賓に迎え、和やかな雰囲気であま市のタイムアフタタイムで総会を開催した。老いも若き!も30余人の校友たちがカジュアルなスタイルで参加。

淡路支部にも、ようやく紫紺の支部旗ができあがり、その披露から総会がスタートした。総会議事では、役員改選があり、佐藤幸平支部長(28商)ほかの新役員案を満場一致で承認した。

懇親会は、予定では芝生広場でのガーデンバーベキューだっ



たが、雨の予報のため屋内に変更。それでも、和やかな雰囲気、心地よく、皆、楽しそうに談笑していた。それに、何といつても食どころ淡路島。淡路島の総会は「食事がおいしい!」と評判である。

ゲストに迎えたジャズ演奏家の音楽を聞いて奮い立つダンディズムな先輩1人(久留米正紀・51商)。「俺の方がうまい」とステージにあがって、甘い声を遠慮なく披露した。さすが関大魂である。

最後は、グリークラブで声にアッパの磨きかけた白瀬就平氏(平8文)の先導で逍遙歌を熱唱。参加者一同、心を一つにして、総会を終了した。最後に、淡路島は、食事がお

いいところ。皆さま、淡路島で観光、ゴルフ、お食事etc...、お越しの折は支部にお問合せ下さい。田舎暮らしも人気沸騰中です。(平7商 鈴木朋美)
(大地・音田誠二)0799-6210055)

「なでしこKOBÉ」始動 会則・役員等定めず気軽に

神戸支部(齋藤富雄支部長)では、女性校友有志で「なでしこKOBÉ(仮称)」を初開催した。

女性同士の交流を深め、神戸支部の活性化に繋がりたいと思い、初めて試みた。神戸支部フェイスブックページ、ホームページで案内したところ、参加連絡と合わせて、今回は参加できないながらも賛同のメールをたくさんいただき、うれしい反響があった。

8月13日11時半からの収穫祭



ビルメンテナンス業界初のISO-9001, ISO-14001, OHSAS-18001 三規格認証取得企業として、「作業品質&マナー」「環境」「安全」の向上を通じ、オーナー様・ユーザー様からの信頼に応えます。

株式会社 大阪ビルサービス

〒540-0012 大阪市中央区谷町二丁目4-5 Tel 06(6941)3306 E-Mail info@obsf.co.jp



ISO- 9001



ISO- 14001



OHSAS-18001



三宮店にてランチパーティに
野村典子（48商）、宮崎恵子
（49法）、伊藤裕子（61法）、山
田理恵（61工建）、前田由利
（61工建）、山本智子（平8社）
野村朱（平22商）の7人が集っ
た。

野村副支部長による「なでし
こKOBÉ、乾杯」で開会、初
対面ながらも楽しいひと時、自
己紹介、卒業から今までのあゆ
みなど、和やかな雰囲気であつ
という間に懇親の和が広がり、
まさに「収穫祭」となった。

現段階では、会則・役員等は
定めずには「気軽さ」をテ
ーマに開催曜日、時間帯、会費
価格帯などに工夫をしながら、
おしゃべり会、グルメ会、見学
会などで始動。

早速に第2回の気運があが
り、秋ごろに建築家である前田
由利さんの草屋根の家の見学を
兼ねて開催することにした。詳
しい広報は、フェイスブックペ
ージ、ホームページで「関西大
学校友会神戸支部」を検索して
下さい。

神戸支部の活動の一環とし
て、関大神戸平成倶楽部、神戸
一八会に加え、神戸支部を支え
る「なでしこKOBÉ」になれ
ばと意気込んでいます。

（副幹事長 山本智子・平8社）
（事務局メール kuakobe1956
@gmail.com）

平井治支部長が3選 ジャズと福引楽しむ

守口支部（平井治支部長）24
年度総会が7月13日、守口ロイ
ヤルパインズホテルで55人が参
加して行われた。篠原勝幹事長
の司会で開会。平井支部長、澤
井良一校友守口市議会議員の挨拶
のあと、校友会本部及び近隣
支部からご出席いただいた9人
の来賓を紹介した。

議事に入るにあたり石井雅敏
氏を議長に選出。事業報告、収
支決算報告、事業計画案、予算
案をそれぞれ満場一致で承認
し、役員改選の議案審議に移つ
た。

新役員の執行部案は、平井支
部長、杉本國雄・山本護・伊
藤榮保の各副支部長、篠原幹事
長及び柏本喜惟会計監査の6人
を再任。新任は守口市役所純正
会長の川部政彦氏の副支部長



と、副支部長を退任する伊東章
前純正会長の会計監査就任と
いうもの。この執行部案も満場
一致で承認された。

議事終了後、来賓を代表して
古川好男校友会副会長から大
学・校友会の現状報告を兼ねた
祝辞を頂戴して第1部を終了。

第2部は、司会を大西和也幹
事にバトンタッチし、まずは恒
例の初参加校友から自己紹介の
コメントを受けた。今回は、脇
田和彦氏お一人だった。

アトラクションは、フォーテ
イ・ジャズバンドによるジャズ
演奏。その後、福引き抽選で盛
り上がった後、伊勢重治氏のリ
ードで逍遙歌を合唱。伊藤副支
部長の閉会の辞で、楽しいひと
とぎに幕を閉じた。

（副支部長 山本護）
（篠原 勝〓06―6998―5
115）

手延べそうめん作り体験 山の辺と宇陀の古社参拝

梅雨晴れの6月23日、守口支
部恒例の第26回親睦バスツアー
を行った。

今回は、山の辺と宇陀の古社
参拝と三輪そうめん作り体験を
楽しんだ。参加者は20人で、集
合に遅れることもなく、定刻に
出発。そうめん作り体験では、
麵を延ばしては戻し、また延ば
しては戻しの繰り返しで結構大



変だったが、完成後に自分の作
ったそうめんを賞味でき、格別
の楽しさを味わうことができた。

また、日本最古の道と言われ
る「山の辺の道」の中間に位置
している石上神宮や、背後の三
輪山そのものを御神体とする日
本最古の神社・大神神社、そし
て少し離れた宇陀市榛原にある
八咫鳥神社の3カ所の古社を参
拝。最後に大宇陀温泉「あきの
のゆ」で疲れを癒し、充実した
楽しい一日を過ごした。

（城 洸造）

熱闘・関関戦の話聞く 土屋元関学野球部監督に

7月1日、松原支部（西田孝
司支部長）総会が、松原商工会
議所内の「ゆず」で33人の出席
で行われた。

本部の古川副会長はじめ、近
隣の河内長野、富田林、東大
阪、八尾、平野、藤井寺各支部



長の出席をいただいた。

第1部総会では、23年・24年
の事業報告が滞りなく終わつた
後、古川副会長より大学の近況
報告をいただいた。大学の現状
を知る機会を頂き、今後の支部
活動に生かしていきたい。

第2部の記念講演では、松原
市在住の元関西学院大学硬式野
球部監督の土屋明生氏をお迎え
し、「熱闘・関関戦」のお話を聞
いた。土屋氏は、昭和49年前後
の関大・山口高志投手（阪神タ
イガースコーチ）と投げ合った
関学のエースとして有名。当時
の新聞記事を参考に、黄金期の
関大野球のすごさを語っていた。

第3部の懇親会では、久しぶ
りに再会した校友たちが近況を
話し合い、親睦に花が咲いた。
松原支部は、小規模な組織だ
が、今後は大学本部や近隣支部



のご指導やご協力を得て、校友同士の結びつきを深めたいと考えている。（支部長 西田孝司）（西田孝司「072-336-1600」）

**24年度新執行部を決定
西野・北川両議員も出席**

東大阪支部（岩崎英夫支部長）は、24年度総会を6月23日大阪上本町のホテルアウイナ大阪で開催した。

来賓には、古川校友会副会長はじめ、近隣10支部からの代表者をお迎えし、総勢80余人が参加する総会となった。

第1部の総会は、物故者に対しての黙祷の後、応援団第90代花岡団長の指揮による学歌斉唱の後、岩崎支部長の挨拶で幕を開けた。来賓紹介の後、代表して古川校友会副会長の挨拶の中で、大学の近況報告があった。

祝前副支部長の議事進行により、事業報告、事業計画、会計、予算報告並びに24年度新執行部の発表が満場の拍手で承認された。役員は左記の通り

支部長 岩崎英夫、副支部長 祝前俊宏・松葉健一・戸谷淳一（総務部長兼任）・在間寛、財務部長 碓義久、組織部長 犬童逸士、事業部長 三輪尚志、幹事長 阪本達哉。

第2部懇親会は、榎本河内長野支部長の力強い乾杯の音頭で始まった。西野あきら衆議院議員と北川イツセイ参議院議員が挨拶のあと、アトラクションではチアリーディンググループCLAIRSの華麗な踊りと、応援団リーダーとのコラボで、応援歌・学生歌などが披露された。会場ではそれぞれ学生時代の楽しい思い出や最近の経済事情やら話題は尽きず、和やかな雰囲気の中で時間を費やし、犬童組織部長の閉会の挨拶で総会を終えた。（幹事長 阪本達哉）（岩崎事務所「072-966-0111」）

**総会に平成卒会員5人
参加者増に期待つなぐ**

富田林支部（杉多弘至支部長）では、7月15日に富田林市民会館で24年度の総会を開催した。

校友会から田中副会長、近隣

11支部から支部長ら役員のご出席をいただき、会員・家族44人が集った。とくに今回は、若手会員の参加をテーマとして呼びかけたところ、平成卒の会員5人が出席。高齢化が進む中、今後に期待を繋げた。

杉多支部長は、「わが校友会は同じ釜の飯を食った仲間、人との『よしみ』。これから本部、近隣支部と連携、親密なお付き合いをしたい。また、寺内会長が努力され工学博士とされたことは誠に名誉に思っています」と挨拶。

田中副会長からは、大学の近況、学生の動向などの報告。また校友会の諸行事への積極的な参加を呼びかけられた。

第2部では、大阪商業大学教授の木村雅文先生（昭53院博社）による『現代日本における



ご良縁 成婚率の高さが決め手

手づくり100%のお世話

コンピューターを一切使わず、すべて手づくり100%の誠実なマンツーマンシステムです。また、ご家庭環境、お人柄等バランスのとれたご紹介を重視し、無駄のないお出会いを実施しています。ご成婚重視のため、他社との連携は一切いたしておりません。国公立大学・有名私立大学ご出身のご成婚者が大勢いらっしゃいます。

エムロードはここが違います

1 成婚率の高さ

無駄なお見合いを省いた成婚重視の手づくり100%の行き届いたシステム。

2 質の高い会員層

国公立・有名私立大卒が中心。

3 同一アドバイザーによる一貫したお世話

ご入会からご成婚まで、同一のアドバイザーが担当。

4 自社会員のための構成

成婚率の高さの維持とプライバシーの保護のために他社との提携は一切なし。

5 格式あるお見合いパーティー

帝国ホテル・リッツカールトン等、一流ホテルでの会員様だけの集い。

6 安心の均一料金システム

どの大学ご出身者も、すべて平等。成婚重視の安心料金システム。



お問い合わせセンター [大阪・神戸・京都] 携帯・WEBからも **エムロード 結婚** 検索

0120-4122-46 営業時間 / 10:00~18:30 定休日 / 水曜日

●ドクターズコース
●一般コース
●シニアコース 有

資料請求
無料

株式会社 **エムロード**®

大阪 大阪市北区茶屋町8-21-3101 (NU茶屋町プラス最上階) 神戸 神戸市中央区御幸通8-1-6 神戸国際会館19F 京都 京都市下京区室町通綾小路ル鵜飼町480 オフィス・ワン四条烏丸6F

宗教意識」と題する記念講演。わが国の宗教の歴史と特色、西欧との宗教観の違い、現代社会での宗教の実態などデータ付の資料をもとに解りやすく解説、たいへん好評だった。

第3部の懇親会では、近隣支部の活動状況の報告、スピーチや恒例の「福引」など盛り沢山なレモニーでアツと言う間に予定時間となった。

なお、当支部が2年前から取り組んできた「ゴルフ」と「歴史散歩」の両部会とも次第に参加者が増えてきて定着。今後、さらに会員の増強と親睦・交流に努めたい。（幹事長 秦純一）
(野島 努) 0721-23-3190

叙勲の大谷監事に記念品 平成卒会員の参加が課題

豊中支部（上村学支部長）の24年度総会が、7月7日に千里阪急ホテル・クリスタルホールで開催された。本部から田中副会長をはじめ、近隣支部の役員を来賓に迎え、同伴者を含めての参加となった。

第1部の総会では、支部長の挨拶に続き議事に入り、23年度の事業報告・決算報告及び24年度の事業計画が異議なく承認された。

第2部のアトラクションは、関西大学文化会のマンドリン俱



楽部の皆さんに出演していただき、懐かしのメロディーやマンドリンオーケストラを演奏してもらった。終了後、田中部長に「今後の倶楽部の活動費」支援として金一封が贈呈された。

続く第3部の懇親会では、春の叙勲で瑞宝小綬章を受章された大谷久仁雄監事に記念品の贈呈。乾杯は元科学技術庁長官で支部顧問の近江巳記夫氏の発声により懇親に入った。

中野寛成衆議院議員や大倉雄次郎名誉教授からのテーブルスピーチに拍手喝采。今年は平成卒業生が5人であり、今後はもっと多くの若い校友が参加するよう支部長から要請があった。

毎年好評の福引では、色とりどりの美しい鉢植えの花が抽選で全員に配られた。締めは、全員肩を組んで特別参加の花岡達

也第90代応援団長のリードで逍遙歌を大合唱し、総会を終えた。

なお、来年の総会では、梅雨の時期を避け9月28日（土）千里阪急ホテルにおいて開催することが決まった。また、今回総会に出席できなかった55人の校友から11万円の協賛をいただいた。

（幹事長 横島正秀）
(横島正秀) 06-6331-2275

来賓に森山摂津市長ら 「ジャグリーマ専科」出演

6月23日、摂津市立コミュニティプラザで摂津支部（板野剛士支部長）の24年度総会・懇親会を開催した。

校友でもある森山一正摂津市長をはじめ本部から成岡事務局次長、近隣支部から森口隆高槻・島本支部幹事長、別處に一茨木支部長、奥谷英夫吹田



支部長、岩田年浩前関西大学教授、宮部義隆摂津市役所関大クラブ会長といった来賓各位にお越しいただき、まずは総会開始。

板野支部長挨拶の後、森山市長から摂津市の近況、成岡次長から関大の近況を交えた祝辞をいただいた。議事については、参加者の協力もあり、滞りなくスムーズに終了。

懇親会では、母校の大道芸サークル「ジャグリーマ専科」による演技で一気に賑やかになり、来賓各位や初参加の校友からの挨拶や、逍遙歌の合唱を経て大盛況の内にお開きとなった。

（副幹事長 三宅秀明）
(エイブル・阿部賞久) 0721-657-9891

「笑いは百薬の長」 森下伸也教授が講演

堺支部（隅谷哲三支部長）は6月23日、リーガロイヤルホテル堺で、大学から上原理事長、寺内校友会長らと近隣支部代表の方々を迎え、校友81人が出席して総会を開催した。

第1部は、野間副支部長司会のもと、応援団の指揮で学歌斉唱、物故会員へ黙祷を捧げ、隅谷支部長の挨拶で始まった。

寺内校友会長は、祝辞の中で、「堺キャンパスが生まれたが、堺支部があり心強く思う。



法科大学院に陰りがあり憂いている。皆さんの力で母校の輝きを取り戻したい」と、力強いメッセージを述べられた。

議案審議では、隅谷支部長の議長で、第1号、5号議案ともスムーズに流れ、役員改選も全て承認された。

第2部の講演では、人間健康学部の森下伸也教授に「笑いは百薬の長」のテーマで講演をいただいた。先生は笑い学会の会長でもあり、ユーモア療法のお話では、笑いが如何に病気に効くか具体例を交えて解りやすく話され、笑いの効用をしつかり勉強させていただいた。

全員で記念撮影の後、第3部の懇親会に入った。来賓挨拶では竹山修身堺市長から、堺市政に対する日頃のお礼と住吉大社の神輿も関大生が担ぎ心強く思

った。スポーツ振興でも助言を受けているとお祝いの言葉をいただいた。

上原理事長は、祝辞で、「堺市長は総会には皆勤で、人間健康学部の開所式でも出席いただき無理も聞いていただいている。堺市と連携して益々発展していきたい」と力強い決意を述べられた。

楠見学長の祝電が披露された後、野口徹堺市役所関友会会長・堺区長の乾杯でいよいよ宴が開き歓談に入った。その後、最大イベントの応援団による演舞が始まった。力強い太鼓の音に乗せ、チアガールが、男子応援団が舞い、一層の盛り上がりを見せた。

オークションも交えながら和気藹々と宴は進行し、堀畑支部長の閉会の辞で第3部終了。応援団長の指揮のもと、全員が輪になって声高らかに逍遙歌を合唱し閉会となった。

(鍋島 均「072-284-1412」)
(宮内利正・41法)

『PL花火芸術』を觀賞 富田林支部長所有地で

8月1日、大阪狭山支部(吉川寿一支部長)では、当支部総会に来賓として出席いただいた野島努富田林支部長のご厚意で、PL花火芸術の打上げ地点

近くの野島氏の所有地に、大阪狭山から大型バス1台をチャーター、会員はじめ家族・友人・知人の総勢52人が現地に繰り出した。

器材・食材を含み、準備から後片付けまで全てやってくれるバーベキュー専門業者と花火芸術とのコラボで、花火打ち上げの時間までをサーバーによる生ビールで涼をとり、バーベキューで腹ごしらえをした。

その後、皆で横付けしているバスに戻り、ビンゴに興じたが、花火が始まる午後8時までの5時間が長く感じない位に盛りあがった。

偶然にも、バーベキュー業者の社長が年齢30歳で、一中、一高、関大のOB、社長夫人も関大OG、チーフ、スタッフも関大、関大生とのことで、業者と



いうことでなく関大ファミリーとして意気投合した次第である。午後8時から始まった2万5千発のPL花火芸術の直近からの迫力に、参加の皆が圧倒され、喜んでくれ好評だった。このイベントを企画して良かったと、場所を提供して下さった野島副支部長に心から感謝!

参加の皆さんから来年もとの声もあり、野島副支部長からOKがあれば検討してみたいと思っている。(幹事長 花崎光輝)
(花崎光輝「072-366-6120」)

新支部長に井上章氏 小南池田市長も出席

7月17日、池田市民文化会館で池田支部(古川智支部長)では、32人の校友出席のもと総会を開いた。

23年度の事業報告並びに会計報告、役員改選案の提案がされ、24年度の事業計画案、予算案が承認された。今回の総会で、永年池田支部に貢献された古川智支部長、水本武幹事長が勇退し、新支部長に井上章氏、新幹事長に石田隆史氏が就任した。

懇親会には、本部から寺内校友会長はじめ、近隣支部8支部と池田市役所関大会、池田泉州銀行関大会、池田市議会議員ら16人も出席された。



また、小南修身池田市長も公務多忙の中出席され、支部活動に敬意を表明された。寺内校友会長からは、会長就任から今日までの総括の話に加えて、現在の関大の課題、今後の抱負などが語られた。

校友である倉田薫前池田市長からは「近況報告」と題して、市長退任後新たに立ち上げられた『薫風政治塾』に関することや、ご自身の最近の活動内容、更に国政の動向等、興味深い話題を提供された。

藤元箕面支部幹事長挨拶の後、吉本池田市議会議員の乾杯の音頭で歓談に移り、会半ばで恒例の抽選会を行い、逍遙歌と記念写真撮影で終了した。

(井上 章「072-753-5645」)
(会計監査 堀 好夫)

クレアーズの演舞楽しむ 出欠回答の少なさが心配

寝屋川支部(清水英俊支部長)の総会が、5月12日にシテイホテル・ニューモントナーで開かれ、校友会本部、枚方・守口・門真・四條畷・交野・大東各支部と寝屋川市役所千里会の代表はじめ、校友家族を含む44人が出席した。

総会では、事業報告・会計報告・監査報告を承認、任期満了に伴う役員改選では、幹事長に上田耕也氏(54社)、会計監査に中川弘氏(37商)らが選任された。

第2部のアトラクションは、総会案内では「当日発表」で「お楽しみ」としているが、今年は、応援団OB長柄会(部)の支援で頑張っているチアリーダーイングサークル「クレアーズ」に、間近で演舞を見せて頂いた。



会場の広さ・天井の高さで演舞は難しいと思っていたが、条件の悪さは若さでカバーして見事な演舞を披露してくれた。

演舞の後、懇親会を開宴。校友間の歓談があり、最後にはクレーズの皆さんも加わって逍遙歌を歌い上げ、お開きとなった。

4年間事務局を務めた者として気になったのは、支部活動に参加を望まない校友が多いこと。「出欠」の返信すら貰えないのは残念です。新卒者は会費免除でお誘いしたが、これも殆ど回答がありませんでした。

支部総会の報告が大変遅れました。総会出席者、欠席されたがその内容を「関大」を通じて知りたいと言われていた校友に心からお詫びいたします。幹事長が代わりました。新幹事長に今まで以上のご支援をお願いいたします。（前幹事長 木下元重）（上田耕也＝072－824－2308）

カントリー演奏に喝采 両支部に新支部長誕生

鶴見支部（徳野豊支部長）と都島支部（乙咩淑子支部長）の合同懇親会が、6月30日に天満橋・錦城閣で開催された。田中義昭校友会副会長、田中義信市内支部連合会長をはじめ近隣支部の支部長、役員が出席され

た。

第1部の総会は鶴見・都島支部それぞれ単独で開催された。両支部とも役員改選が審議され、鶴見支部は徳野支部長が退任され新支部長に迫匡氏（40商）が選任され、また都島支部も乙咩支部長が退任され新支部長に香西安勝（47法）が選任された。徳野前支部長と乙咩前支部長とも両支部の発展に「尽力頂きましたこと」を紙面をお借りしてお礼を申し上げます。

第2部の合同懇親会の初めに、徳野前支部長と乙咩前支部長に、両支部校友から感謝を込めて花束を贈呈した。特に鶴見支部の徳野前支部長は入院中でありながら、無理を押してこの



合同懇親会のためにご参加を頂いた。

続いて合同懇親会は、両支部新支部長挨拶のあと田中校友会副会長、田中市内支部連合会長の挨拶、米谷晴生東成支部長の乾杯のご発声で開会となった。

アトラクションでは、校友で構成するカントリーバンド「ブルリボン」の演奏で、懐かしいカントリーポップスを聞きながら盛り上がった。その後、ピンゴゲームに移りこれまたヤンヤンヤの盛り上がりうちに終了した。（迫 匡）（鶴見支部・迫 匡＝06－6967－3455、都島支部・香西安勝＝06－7652－9703）

「働こう会」始動する メンバーはJMSK

6月30日の鶴見支部総会で、徳野支部長（28法）より役員改選された新執行部は、支部働こう会JMSK（じえむすけ）4人組。J重里正信（54法）会計部長、M南畑吉是（47工）幹事長、S迫匡（40商）支部長、K近藤善重（40文）副幹事長。支部働こう会の初仕事は、2支部合同総会の反省会で都島支部役員と共に総会会計の清算を済ませ、総会全体の反省も丁寧に語り合ったこと。次に「鶴見

区民まつり」参加の申し込みに動き、現在は秋のファミリー・ハイキングのための現地視察見学から正式案内へ活動中。

8月5日にJMSKのお疲れ様会。4人がビールやスイカなどわけのわからん取り合わせを持ち寄ってのミーティング。9月5日の市内支部のゴルフコンペ、11月にファミリー・ハイキングをと話に花が咲いた。

その時の話題2つ。高野武文氏（34法・陽光代表取締役社長）から、50年かけて立派な現在の全国組織の会社を作られたことが紹介された社内報「陽光」が、支部会員にプレゼントされた。会社の経営理念・経営指針などが丁寧に述べられていた。

高野氏は平成20年に黄綬褒章を受章、物流関大会設立の立役者の一人。その後も東日本大震災直後に生活救援物資を多くのトラックに満載して支援活動を続けられた人である。企業は人なりを大切に、きめ細かい人材育成が企業人教育成長の力だと主張される事がよくわかる経営者である。

続いては、鶴見支部現役校友・総合情報学部1年の藤谷雄飛君。彼は今年大阪産業大学付属高校から本学に。高校時代からアメリカン・フットボールの選手で、高校3年で全国優勝。今年6月28日から7月7日まで

で、アメリカ、テキサス州の「第2回－19世界選手権大会2012」に日本選抜に選ばれた関大生5人の中の一人で、DLの選手。大会で見事銅メダルを獲得している。（迫 匡）（迫 匡＝090－5017－8420）

千里山キャンパスで総会 9月8日ハイキング企画

7月21日に千里山キャンパス内のイタリアンレストラン「チルコロ」で、住之江支部（龍池靖憲支部長）の第4回総会を開催した。議長職は龍池支部長が務めた。

田中義昭校友会副会長ほかの来賓の出席をいただき、会員を含めて20人で、ささやかながら、楽しい総会だった。

千里山キャンパス内での初めての総会で、出席会員の中には「卒業後初めてで、懐かしい」と





新支部長に後藤憲之氏 染太さんがトークと落語

6月23日、天満橋錦城閣で43人の出席を得て城東支部（高木忠雄支部長）総会を開催した。

（幹事長 塩田憲治）
（塩田司法書士事務所内）06-6943-7267、Eメール shiotaken@uolgate01.com

が「随分変わってしまったけど立派になったな」との感想もあり、学生時代に逆戻りしたような気分浸った。

ハイキング同好会は、9月8日にサントリー山崎工場見学と約4キロの水無瀬神宮ハイキングを予定している。

昨年までは旭・鶴見支部と合同で開催していたが、今年度から単独開催。総会では高木支部長が退任され新支部長に後藤憲之氏を全員一致で選出した。

総会に引き続き懇親会を開催し、高木前支部長、後藤新支部長から挨拶があり更なる城東支部の躍進を誓った。

来賓紹介の後、田中校友会組織部副部長から母校の近況を交えて挨拶をいただき、続いて畑校友会局長代行の乾杯の発声で懇親会がスタートした。和気藹々の懇親が進む中、ゲストの校友落語家、林家染太さんの楽しいトークと落語で大いに盛り上がった。

そのあと空クジ無しのお楽しみ大抽選会を行い、ワクワクドキドキで更に盛り上がった。最後に上符副幹事長の指揮で逍遙歌を高らかに歌いお開きとなった。

（幹事長 近藤正昭）
（近藤正昭）06-69335-5545

本田幹事長が13年で勇退 「大阪城石垣の魅力」聴く

早稲田、明治と共に日本の3大校歌といわれている関西大学学歌「自然の秀麗」が今年もホテル阪神の支部総会会場に響き渡った。

6月16日、此花支部（平岡昭雄支部長）の第20回記念総会お

よび懇親会が、渡邊泰之校友会組織部長、田中義信大阪市内支部連合会会長の臨席をいただき開催された。

2部の記念講演では、西田一彦工学部名誉教授による「大阪城石垣の魅力」と題しての講演を拝聴した。先生は、石垣を積み重ねる技術、曲線美と安定性など、大阪城は日本のお城のみならず世界に誇る文化財である」と強調された。また、在学時代、西田先生から教授を受けた校友たちも久しぶりの再会に沸いた。

今年は、此花支部が復活して20回目の総会であり、第3部ではセレモニーと懇親会が行われ、平岡支部長は挨拶の中で、会員相互の交誼と地域社会貢献を今



後ともより一層はかつて行こうと強調された。

また、今年は役員改選の年であり、13年にわたって尽力された本田勝則幹事長が勇退され、感謝状と記念品が贈られた。

成岡校友会事務局次長の乾杯の音頭で懇親会に移り、市内連合西ブロックの参加者・章文会代表によるスピーチ、現役応援団による応援歌披露などがあり会場は最高潮に達した。

1年をかけて準備してきた此花支部ホームページが正式にアップロードし披露された。今後はこのHPを駆使して会員の交流と地域貢献活動に寄与したいものである。

期待される新入会員の紹介もあり、最後に現役応援団の指揮のもと逍遙歌を吟じ記念すべき総会は無事終了した。

今年は、大阪日日新聞社の取材があり6月29日同紙に「関大仲間、盛大に」と写真入りで掲載された。（新幹事長 山口升啓）
（山口土建・山口升啓）06-6461-1049

表玄関、北から始めよう パワー集め元気な大阪に

北支部（福田平司支部長）の総会が、6月22日、ガーデンシティクラブ大阪にて、寺内俊太郎校友会会長、近隣支部役員など9人の来賓をお迎えし、計



窓を考える会社 YKK AP

YKK AP株式会社 ビル建材第一事業部 大阪支店

大阪府大阪市中央区谷町4-8-7 TEL.06-6947-4141

www.ykkap.co.jp

お母さまへ

主婦がコツコツと手造りで
ご良家のご縁結びをしています。

高槻の隣り町
島本町

TEL.075-961-7405

吉川 味与子
(関西大学卒業生の妻)



60人の参加をえて開催された。総会では、事業報告、会計報告、会計監査が報告され、事業計画案、予算案も審議され、いずれも可決承認された。福田支部長は「関西大学の老、壮、青のパワーを集めて、元氣な大阪にしていきたいと思います。大阪の表玄関、北から始めましょう」と力強い挨拶をされた。ついで、寺内校友会会長から、祝辞をいただいた後、来賓の田中義信市内支部連合会会長の乾杯の音頭により、懇親会が始まった。

校友であるジャズボーカリストの五十嵐あきこさんの歌と同じく校友の松田忠信さんのピアノ演奏を聞きながら楽しいひとときを過ごし、逍遙歌合唱で総会の幕を閉じた。

(幹事長 市田利夫)
(市田利夫) 06-6375-1336

地域職域で絆深め連携を 松井大先輩が楽しい挨拶

7月6日、シエラトン都ホテル大阪で24年度八尾市役所関大会(今仲理三郎会長)総会が開催され、会員約70人と来賓3人が出席した。

来賓の田中誠太八尾市長(近畿大学校友会副会長)からは「本市の本年度の採用者の内、関西大学卒業者の採用は社会人を含め13人であった。もちろん八尾市役所内に学閥は存在せず、各部署の垣根を払い同じ校友の横の関係を大事に八尾市政に英知を発揮してもらいたい」との激励の挨拶があった。

次に、松井一郎大阪府知事の父君であり、支部顧問の松井良夫氏(34文・40法)が、八尾市役所職員、八尾市議会議員、大阪府議会議員時代の思い出話を中心に楽しい挨拶をされ、非常に印象的であった。

中尾達夫支部長は、校友会の地域支部と職域会の関係において、相互尊重、互慶平等の立場に立ち、同じ関西大学に籍を置いた者同士、絆を深め、連携をしいことと挨拶。会場から賛同の拍手があり、降壇の際、中尾支部長と今仲会長が握手し強い絆と強い「関大」を確認し合った。

総会は、田中市長挨拶のとお



在阪の自動車業界に従事する校友で組織している自動車関大会(森下功会長)の第47回定時総会が、7月18日に大阪市港区のホテル大阪ベイタワーで79人が出席して開催された。来賓として寺内校友会長、北嶋システ

ライバル同士が和やかに懇談 次期会長には瀧川晃氏を選出

り部局と課・係の垣根を払い、



和やかな宴席となり、関大卒業の新規採用者の内8人の総会出席者が舞台の上がり、緊張気味の校友もいたが、堂々たる挨拶をした。

順次、懇親会が進み、アトラクションとして、女性声楽家のクラシックの独唱もあり、大変盛り上がった。

(八尾支部長 中尾達夫)
(八尾市役所こども未来部 小山登) 072-924-3988

△理工学部教授らをお迎えした。

第1部は、学歌斉唱、会長挨拶のあと議事が進められ、23年度の事業報告、会計報告が満場一致で承認された。

森下会長は、「自動車業界を取り巻く環境は、エコカー補助金を追い風に国内の新車販売台数は、昨年の東日本大震災の反動とも重なって前年に比べ大きく伸びている。これから更に、東北地方の復興事業も重なり日本経済にも好影響を与えるものと考えられる。地域差はあるものの前向きにとらえ、自動車関大会の皆さんの益々の活躍を期待する」と挨拶した。

議事は進み、任期満了に伴う

役員改選が行われ、幹事長である瀧川晃氏を次期会長として選出。常任幹事も一部入れ替えがあり、新しい体制がスタートした。

第2部は乾杯の後、懇親会に移り、テーブルごとに記念写真を撮影。また、今年入った新卒会員6人を紹介し記念品を贈呈。

恒例のチャリティバザールも開催。出席者からさまざまな出品があり、売り手と買い手の競り合う声が飛び交う中、日ごろは仕事上ライバルである会員同士がこの時ばかりは楽しく和やかなひとときを過ごした。売上金の一部は、(財)大阪交通災害遺族会への寄付に充てられる。

(幹事長 中野吾一)
(大阪トヨペット経理部・宇山幸生) 06-6543-5215

出席合格者に記念品 合格後も勉強・努力を

司法書士関大会(中村博会長)では、試験合格祝賀会兼新入会員歓迎会を7月14日に大阪キャッスルホテルで開催した。

大学から上原洋允理事長、楠見晴重学長ほか関係者6人と校友会の田中義昭副会長らを来賓に迎えるとともに、23年度合格者5人と会員を合わせ総勢46人の参加であった。



中村会長は挨拶の中で、「近畿圏の合格者が、23年度は17人しか判明せず、会員の方々には寂しい思いをさせた。合格者の学部別内訳は法が9人、経済2人、商2人、文3人、社会1人であった」と報告した。また、今回8回目の合格祝賀会で、合格者の参加者数が過去最低であることにつき、謝罪した。

引き続き、学校関係者及び来賓の紹介の後、上原理事長は、「司法書士試験は合格率3%の難関国家試験ではあるが、関大卒の司法書士は優秀であると言ってもらえるよう、合格後もしっかりと勉強、努力することを要望する」と挨拶。楠見学長からは、司法書士は社会への貢献度が高い職種であり今後の活躍を期待する旨の言葉を頂いた。

最後に田中校友会副会長は合格はゴールではなく42万卒業生の校友会のためにも活躍して欲しいとの挨拶を述べ、合格者

**第2回酒蔵コンサート
銘酒と懐石料理で交歓**

経済人クラブ（西村太一会长）では、第196回特別例会として、7月21日に神戸酒心館で第2回酒蔵コンサートを開催した。

昨年の谷本華子バイオリンコンサートに続き、今年はフルートデュオコンサートに南部やす

全員に記念品を贈呈された。

今春に黄綬褒章を受章された高橋一夫相談役へ花束が贈呈された後、池内啓三専務理事の発声で乾杯し、歓談に入った。懇親に入り、吉田栄司法学部長より祝辞を頂き、本日の主役である合格者が壇上にあがり、大学時代のサークル活動・エピソード等の自己紹介並びに今後の抱負等を大いに述べてもらった。

合格者、学校関係者及び来賓を交えての恒例の記念写真の撮影を行った。

ついで、会員を代表して北田五十一副会長が、合格者に司法書士会の発展にも寄与してほしい旨の言葉を述べた。

最後に、中村博会長のリードで逍遙歌を全員で合唱し、佐竹正康副会長の閉会の辞でお開きとなり、散会した。

（幹事長 辻井宏之）
（中村博司法書士事務所）06-6705-5678



か、山本アキを迎えた。

開演間近、突然のゲリラ豪雨に見舞われながらも満席での幕開けとなった。クラブ会員を始め、校友及び関西各界で御活躍中の名士、政界からは浜本宏衆議院議員、音楽界からはマスコミで人気の中国古箏奏者伍芳氏など、昨年にもまして90人を超える参加者で盛会となった。

プログラムは、ベニスの謝肉祭による「変奏曲」、「偏奏曲」等ユニークなクラシックの名曲や馴染みやすいポップスや歌謡曲をアレンジした酒宴のメドレー等独創性に溢れたもので、南部やすか氏の流麗な演奏に聴衆はひと時、桃源郷に誘われた。

第2部の交歓会は、灘の銘酒「福寿」を味わいながら懐石料理を楽しむ、名刺交換や、親しい校友同士、家族参加の会員の和やかな語らいに、真夏の宵はふけていった。

最後にフルートとピアノの伴奏に関西二期会バリトン歌手伊藤正氏による歌唱指導を頂き、全員で「時代」、「見上げてごらん夜の星を」の2曲を酒蔵に響くほど大合唱した。

（若手会幹事 長谷川真理）
（校友会事務局）06-6368-0041

**まるで学生時代の合宿
仙台在住の鉄川先生迎え**

鉄川謝交会（平野勝司会長）は、関大セミナーハウス「六甲山荘」をお借りして親睦会を行った。7月7・8日の1泊2日の日程で、仙台在住の鉄川先生も遠路はるばるお越しください、総勢13人が参加した。

夕食は山荘の管理人兼シェフが腕を振るうフランス料理のフルコース。六甲の涼風や夜景と共に心のこもった美味なる料理を堪能し、参加者の皆々は贅沢な気分には酔いしれ大満足の様子。食後は一つの部屋に全員が集まって飲み語り笑いながら夜更けまで大いに盛り上がった。

翌朝の食卓では、鉄川先生の「みんなで朝ご飯を食べるっていうものだね」との言葉に皆の顔がほころび、和やかな雰囲気包まれた。セミナーハウスでの宿泊はまるで学生時代のゼミ合宿のようで、とても楽しく有意義な親睦会であった。

関大校友「結婚」の橋渡し

申込金 **12,000円** 月会費不要

☆申込資格・校友会員およびその子弟、校友会員の責任ある紹介を受けた人
☆相談日と相談時間 毎月第1・第3土曜日 午後1時～4時
（但し受付は3時30分まで。1月第1、8月第1・第3土曜日はお休み）
☆場所 関西大学天六キャンパス

■お問い合わせ
仁井ひろみ方 TEL (06) 6925-1821
●ホームページ（詳細はこちらで）
関西大学女子秀麗会で検索

関西大学女子秀麗会 **URARA** 結婚相談所

（浅田育孝）0742-4615723
（幹事 藤森憲子）



楠見学長が「京都と水」講演

4年ぶりに合同懇親会を開催

7月1日、博修士会（北嶋弘一会長）は創立60周年を記念して、女子秀麗会（仁井ひろみ会長）と合同でJR福島駅近くのホテル阪神に参集した。当日は11時から各々の総会を、12時半から合同で学術講演会と懇親会を総勢93人の参加によって開催した。上原洋允理事長をはじめ、寺内俊太郎校友会長、市原靖久副学長、紀和隆評議員会副議長など多数の来賓の参加を頂いた。

学術講演会の講師には、楠見晴重学長（環境都市工学部教授）をお招きして「京都 千年の地下水脈」と題した素晴らしいお話を頂いた。千年を超える京都繁栄の歴史を支えたのが京



都盆地の地下水であり、京都と水との関わりについて、催事や食文化など多くの事例を示されて分り易く説明頂いた。

楠見先生の20年以上にわたる調査・研究により、京都盆地の地下には琵琶湖に匹敵する約211億トンの地下水が蓄えられていることが判明し、「京都水盆」と名付けられた。

引き続き開催した懇親会では、先生にご持参頂いた京都伏見の酒の試飲・飲み比べを行いながら、大いに盛り上がった。4年振りの合同開催で、互いに意義ある楽しい時間を過ごすことができ、終始賑やかで和やかな会はあつという間に過ぎた。最後に、参加者全員が逍遙歌を歌いお開きとした。

（博修士会広報部・篠塚義弘）
女子秀麗会総務部・岡田由美）
（博修士会 関西大学システム理工学部専任講師・緒方正則）06-6368-1121
女子秀麗会 仁井ひろみ 06-6922-6806

「みんなで終活！」 安田依央さんに聞く

女子秀麗会（仁井ひろみ会長）では、第11回「楽塾」講演会を左記の日程で開催します。



今回は、充実した人生の最期を迎える準備...、近頃話題の「終活」を、他に先駆けて提唱した安田依央さんの、面白くてためになる講演です。校友の皆さま、ぜひご参加ください。

安田さんは、関大563号「きらつ人校友録」に登場した法学部卒業の作家で、近著に『終活ファッションショー』（集英社刊、定価1470円）があります。

日時 11月11日（日）午後2時より
場所 阪急ターミナルスクエア17「ふじの間」

会費 3000円

定員 60人

詳細チラシ請求・参加申し込みなどは、仁井会長あてにファクス（06-6925-1182

3）にてお願いします。

初のカラオケ大会 森本相談役も熱唱

スポーツマンクラブ（2部体育OB会・中井邦夫会長）七夕総会が、恒例の7月7日にホテル阪神で行われた。年に一度、何が何でも「七夕」に行われ親交を深める場だ。今年で47回を数える。

明け方まで暴風雨という悪天候はどこへやら。天候まで我われの再会を祝ってくれているような中、約140人の参加となった。

1部総会では、活動・会計・監査報告。そして活動計画、予算、会則変更、役員一部変更等について、賛成多数で承認。

2部懇親会は、中井会長の挨拶、来賓の紹介の後、森本靖一郎法人理事・相談役、大谷啓



二校友会副会長から挨拶をいただき、小坂道一最高顧問（体育OB・OG会会長）の乾杯で始まった。

昨年は、持ち寄った我々の現役時代の写真などを投影し、懐かしく振り返った。今年は一転、明るく華やかに有志、指名での「カラオケ大会」を開催。来賓・会長の5人による本格的な採点により優勝は、塩田貴美代司法書士関大会名誉会長。乙女のような恥じらいと明るさが高得点につながった。

終宴を惜しむ中、横山雅仁長柄会幹事による振りで、恒例の逍遙歌で締め。肩を組み関大OBとしての誇りと喜びを感じながら、母校の隆盛を心から祈る一夜となった。

来年の七夕は日曜日。50周年に向け益々盛り上がって行きたいと考えている。皆さま今後ともよろしく願っています。

（事務局長 小早川勝巳）
（関西船用）06-6572-1021

OB合宿で絆を深める 活動が終了して以来

応援団OB長柄会（部）（大谷啓二会長）は、6月23日から24日にかけて滋賀県大津市和邇浜の民宿「日出美荘」において合宿（正式名称は「合宿と称して」）を行った。

梅雨の時期でもあり天候の心配があったが、合宿の2日間はそれまでの雨が嘘のように上がり、これも参加メンバーの日頃の精進の賜物であらうと思われた。

2部応援団の活動が終了して以来、初めての合宿であり、現役時代を思い出すことと、絆をより一層深めるという趣旨に賛同した会員、遠くは岩手県、静岡県からと総勢15人が参加、中には大阪から自転車で駆け付けた猛者もあり、その熱意に大いに感激した次第である。

初日はリーダーが発声練習、兎飛び、ランニングと現役時代を彷彿とさせたり、OBバンドは広々とした琵琶湖畔で伸び伸びと練習、夜はバーベキューで舌鼓を打ち、花火のおまけまであり、和気藹々と過ごすことができた。夜中には夜襲を予定していたが、全員が飲み過ぎで不発に終わったことは心残りである。

2日目は、午前中に初日と同じ練習を行い、昼には流しソーメンで大いに盛り上がった後、来年度も第2回目のOB合宿を行い、多数の参加者を集めようと誓い合って散会となった。

なお、正式名称の「合宿と称して」という意味は、現役時代



の合宿ではなくOBだけの合宿なので、長柄会のメンバーが気軽に集まって思い出話などに花を咲かそうということと、2部応援団の活動終了以後、団旗を立てることも無かったので痛みが出てきたため、ここで一度団旗に風を当てようということも今回の合宿の目的の一つであった。

来年以降もOB合宿が開催でき、参加者も増えて団旗の下、長柄会の絆と結束が一層強まることを期待している。

(25代 出口健一)
(中村司法書士事務所・中村博) 06-6705-5678

加賀の歴史と文化を探访 観光大使・宮崎氏が案内

天六同友会(水上義博会長)第35回夏期研修会は、加賀百万石の歴史と伝統文化を探访し、19人が参加した。

7月16・17日と1泊2日の行程で、8時半に大阪城公園駅からバスで一路加賀に向け出発し

た。福井県武生ICで昼食を済ませ、北陸道で加賀市橋立町の「北前船の里資料館」を目指した。道中、石川県の観光大使の肩書を持つ宮崎会員から、加賀・前田家の歴史風土文化についてDVDを駆使した詳しい説明があり、一通り理解を深めた。

北前船の里資料館では、江戸時代後半から明治時代にかけて大阪と北海道を往復し、莫大な富(一往復一億円の利益)を得た豪壮な船主郎を見学した。次に那谷寺に参拝。奇岩の中に観音様が在る遊仙境を見ながら境内を散策した。

早めに粟津温泉「辻のや・花乃庄」に到着した一行は、ゆつくり温泉で汗を流した。6時からの懇親会では、親睦を深めるとともに、関大の現況と課題についても話題になった。また、懇親会では、特別参加してくれた金沢在住の野崎哲男君(56



商)が、応援団OB長柄会(部)の上符氏の指揮による逍遙歌に感激し、会は大いに盛り上がった。

2日目は、金沢市内の観光。加賀前田藩の風情を残す「長町武家屋敷」では、谷口和男(40経)ボランティアガイドの熱意のこもった案内をつけた。次に「東茶屋街」を見学し、兼六園で昼食とそのあと散策。最後に金沢の台所「近江町市場」の見学、買い物をし、帰路に着いた。

(水野義博) 072-635-2147 (山中正利)

中村先輩が応援隊体験談 報道で見えない被災状況

6月30日に千里山キャンパスの校友・父母会館で文化会OB会章文会(中瀬和夫会長)総会を開催した。文化会本部、奇術研究部の現役学生を合わせて約30人の出席があった。

奇術研究部の学生による華麗なマジックにより会場は大いに盛り上がった。その後、同部OBの中村孝之先輩が、東日本大震災への宝塚市の取り組みである「宝塚希望応援隊」に参加し、被災地へ娛樂を届けた際の貴重な体験談を聴かせて頂いた。日頃の報道では見えてこなかった被災地の状況を別の側面から見た心持ちであった。



本年は、文化会が再建されて20年という節目を迎え、今回の総会には平成卒の初参加者が多く参加し、本会の継続・発展について新たな可能性が生まれた総会であった。

(三坂友章) 0797-8518031 (宮西浩則) 平20学文)

高大の連携教育が実現 大西昭男元学長が尽力

天商関大会(山田榮一会長)の24年度定例会は、8月17日にKKR大阪で開催された。

当会は、創立して20年になり、その間、大西昭男元学長・理事長がメンバーとして高大の連携教育に尽力されたことが、現在実現して市立天王寺・市岡・東3商業高校が併合、ビジネスフロンティア高校と校名・校舎とも新たに開校したことを喜び合った。この件につい

30年ぶりのOB会に14人 色あせない数々の経験

7月7日に14人が参集し、が
んこ曾根崎本店で経営経済研究
部（略称経営研）OB会が開催
された。

近藤敏浩会長（46卒）が、「今
後も定期的に集まり母校関大の
発展のため、我われで出来るこ
とを話し合っていこう」と挨拶。
その後、各年次の幹事が次のと
おり決定した。

昭和48年卒が田中章氏、49年

て、木口天商前校長（50商）か
ら、本年4月に優秀な生徒が多
数入学したことについて具体的
説明があった。
参加者21人、現役では大谷啓
二氏が校友会副会長として頑張
っている等、多士済々の集いに
力強さを感じた。

（会長 山田榮一・昭25大経）



卒が三島達夫氏、50年卒が藤田
毅氏、また会計担当として辻床
治氏。

前回から30年ぶりとなったた
め、少し、姿形が変化した人も
あったが、学歌や逍遙歌の大合
唱となり、学生時代の輝きを取り
戻したような時間であった。

また、会合には大分県や鹿児
島県に居住している仲間も参加
し、大いに盛り上がった。

現在、天六学舎での授業は行
われていないと聞いているが、
働きながら学び、夏期講座の開
催など経営研の活動を通じて、
教授や先輩、学友から得た数々
の経験は、今でも色あせること
はない。

なお、今後の開催予定は次の
とおり。

12月8日（土）午後6時 が
んこ曾根崎本店、 25年7月13
日（土）会場 大分県or鹿児島
県。（昭49商 辻 床治）



（社会計事務所〃06―6359
―2102）

千葉などから45人参加 20年ぶりの昨年に続き

千昭会とは、経済学部上田昭
三先生のゼミ卒業生の集いで
す。構成は、昭和36年度卒の1
期生から四半世紀にわたる昭和
61年度の卒業生まで、その数は
800余人。古くは現役生が在
籍のころは、毎年1月の第2土
曜にゼミがあり、そのゼミに卒
業生も参加。社会人になってか
らのゼミ受講は、なかなか厳しい
と言つのが本音だった。

そして、夕刻に現役生と諸先
輩が加わった千昭会を開催。こ
れを平成4年度まで毎年開催し
たが、以降暫時休会。昨年約20
年ぶりに再開し、今年も引き続
き開催した。

会場は昨年と同様のリッツ・
カールトンホテル大阪。今回は
45人の参加で、遠くは千葉県か
ら。中には、卒業して初めて
先生と会う人も。学歌で会が始
まり、途中肩を組み逍遙歌を。
出席者が語る近況報告に、先生
が丁寧に頷いておられるのが印
象的だった。

昭和から平成と生き抜いてき
た仲間たち。多くはそろそろ現
役を離れる頃かも。最後の卒業
生は50歳前。1期生の方は70
歳前半。これからも先生と紫紺

の千昭会の旗のもとに集いたい
ものです。（伊奈義之・50学経）



能楽部発展に向け論議 創部90年記念行事など

文化会能楽部のOB・OGで
組織する瓢箪会（榊井俊司会
長）の24年度総会が、7月22日
に豊中不動尊で開かれた。参加
者は榊井会長、顧問の深井麗雄
政策創造学部教授をはじめOB
・OGについては15人であつ
た。

活動報告や新入部員の紹介、
役員選出、第44回関大能（12月
2日開催予定）への財政的な援
助、そして来年の創部90周年に
当たつての記念行事などが議題
にのぼった。こつした議論を通
して、現役部員の減少やクラブ

行事に出席するOB・OGが少
なくなっている傾向がみられる
こと、さらにはクラブのあり方
など様々な課題が見えてきた。
それを現役部員とOB・OGの
間で共有することができたので
はないだろうか。能楽部の発展
のために大変有意義な総会とな
った。

続いて、素謡・仕舞の会が行
われ、素謡が二番、仕舞が四
番、OB・OGによる連吟が一
番という内容であった。現役部
員はOB・OGの厳しくも温か
い目で見守られるなか、関大能
への決意を新たにする良い機会
になったのではないだろうか。

その後、今年度から懇親会が
行われた。現役部員とOB・O
Gとの間で能楽部の昔と今、そ
してこれからに向けた話に花が
咲き、交流がはかられた。

（高等部・宮崎亮太）



OB・OG会に名称変更 上部団体の変更にも準じて

体育会自動車部OB会（小笹徳左衛門会長）の24年度総会が、7月29日に千里山キャンパス100周年記念会館内レストラン紫紺で開催された。

小笹会長（41法）から挨拶と北嶋名誉顧問のメッセージの代読等があった。

続いて各担当役員より会務、会計等の報告、承認の後、体育OB会が、本年3月から「体育OB・OG会」と名称変更したのに準じて、「体育会自動車部OB・OG会」に名称変更する事を満場一致で承認した。

また、松本有司会計補佐（平16工）が、本年4月からシステム工学部技術職員に採用された事も紹介された。

続く懇親会は、橋本守之理事（37法）の乾杯で開宴。出席OB・OGから近況報告や昔の武勇伝自慢があり、皆青春時代にフラッシュバックし、時の経つのも忘れ多いに盛りあがった。

（事務局長 種橋 潤・46社）

9家族33人が参加 20周年記念行事開催

1992年に行われた統一学園祭（Fire）（前田崇光実行委員長）の20周年を記念し、5月3・4日に記念行事を行った。



毎年正月に新年会を開催しているが、今年は20周年だぞと盛り上がり、10周年の九州旅行に引き続き、泊りでイベント開催となった。

卒業から18年が経ち、それぞれ家族連れでの参加だったため9家族33人となり、幹事の私も驚くほどの人数となった。

1日目。思いつきり遊んだ後、夜は但馬牛でバーベキュー。おいしい食事とおいしいお酒、そして積る話に夜は更けていった。ちよっぴり変わった容姿に時の経過は感じて、20年経っても変わらぬ熱い思いと友情に、時の経過は感じなかった。

2日目。こだわり素材のジェラートを食べた後、あまのつかみ取り。田舎を満喫した2日間。そして同じ学生時代を過ごした仲間たちと酌み交わすお酒は、なにもにも変えがたいもの

のだと実感した2日間。

早くも、次の25周年は、Fireの一員が夫婦で営んでいる富山のペンションに行くぞと鼻息も荒く開催を誓い、今回のイベントを締めくくった。

（幹事 廣内清人）

（廣内清人 090-3866-7395）

工学部太田研究室OB会 来年8月4日三宮で開催

故太田義一先生が平成6年4月、名誉教授に就任された時に「祝賀会」と「OB会発起」を兼ねてロイヤルホテルで開催されて、早や18年が過ぎ、恩師の太田先生が亡くなられて、4年になるつとして。

来年のOB会開催に向けての幹事会を、川田明先生を囲んで7月1日に神戸国際会館（維新號 點心茶室）にて開催し、下



記のとおり決定した。

開催日時 25年8月4日（日）13時、場所 三宮神戸市庁舎24F「カフェコンフォート」

多数の方のご参加を期待しています。なお、詳細については今後検討の上、再度幹事より連絡いたします。（櫻井照久）

【訂正】前号（第570号）33

ページに掲載の「村井名誉教授の喜寿祝う」先生は「生涯現役」を宣言」の記事の中で、宇恵勝也商学部長となっていました。たが、宇恵勝也商学部長の誤りでした。お詫びし訂正します。

また、30ページ掲載の「竹内特認教授の講演に聞き入る」の記事の中で、竹内啓三先生の肩書が関西大学教育推進部支援センター特認教授となっていました。たが、関西大学教育推進部（教職支援センター）特認教授でした。訂正します。



ゴルフだより

関西7大学対抗戦開く 関大は9人参加で3位

泰国千里会（中村良三会長）は、7月22日に関西7大学ゴルフ対抗戦を開催した。参加者は、総勢63人。うち関西大学からは9人が参加した。関大のうち上位5人は年齢上位5人と今

良縁お世話致します

婚活(結婚活動)は、早ければ早いほど有利です！
関大生割引あり 一度お電話ください。

ブライダル ナカノ TEL 06-6702-8624
ホームページ
http://www.bridal-nakano.com/index.htm
●関西大学卒業生(商87) 中野友美子

MESA 経済産業大臣認定個人情報保護団体
結婚相談所サポート協会会員

Bridal NAKANO

血糖299が2カ月で94に！ヘモグロビンA1Cも11.5が6.9に！

糖尿病に燕子掌

ヘモグロビンA1C値の改善にお役立て下さい。
「お薬、食事、運動など」
今まで何を試しても下がらなかつたA1C値。今、やっとなげるモノが見つかりました！と、多くの方にお喜び戴いている特許新成分です。
▼この漢方・燕子掌の詳しい資料・改善データを無料で送ります。
特許番号第2535674号
0120(090)358
ヘルスケア研究所

資料無料送付
えん しょう 子 掌
180粒 18,900円(税込)
糖尿110番 検索

校友トピックス

福島県の
小中学校全校に
楽譜・
CDセットを発送



「福島県の小中学校全校にフルートとギター二重奏の楽譜付CDを寄贈」と前号（第570号）本欄で紹介したギター部OBの品川正博さん（昭47学工化）が、8月28日に楽譜・CDセット「写真」750セット（ダンボール箱15個分）を福島県の小中学校全校

後、若手の奮起を期待している。
順位は次のとおり。1位・関西学院大学 2位・立命館大学 3位・関西大学 4位・神戸大学・同志社大学連合 5位・大阪市立大学 6位・大阪外国語大学

次回の関西7大学ゴルフ対抗戦は、11月25日（日）に決定。また、泰国千里会では、関大のみのゴルフコンペを企画し、9月30日（日）に開催する。（安楽成司＝平元学社）
（安楽成司E-mail: anraku@sss.chi.com）

と教育委員会あてに発送した。

「がれき処理などに行く体力はないが、長年親しんできた音楽なら届けられると企画した。若手OBらの協力を得た5月4日の公開録音を経て、やっとこの日を迎えられる。これで、東日本大震災と福島第一原発事故の被害を受けた子どもたちに音楽の喜びを届けられる」と品川さん。

楽譜・CDセットは、会場費や送料などの経費に当てるため実費（1365円）で販売しており、取り扱いには、ジユンク堂の池袋本店（東京）、大阪本店（堂島）、京都店（四条）と京都市のJEU GIA（ジュージア）三条本店。「経費もですが、演奏が素晴らしい出来です。校友の皆さんにも是非聞いてほしいですね」と協力を呼びかけている。問い合わせは品川さん（090-9051-5868）まで。

大谷元NY支部長の夫人を現地に訪ねて

8月17、22日に親友であった故大谷嘉輝氏（昭26専1法、元校友会ニューヨーク支部長）の夫人を訪ねて、アメリカに旅した。

存命中、大谷氏には、現地を訪れた多くの校友や教授がお世話になった。また、彼の開いた柔道と居合抜きの道場は、教え子によって今も運営されている。

次女のリンダ・知子・マツキニは、東洋人の女性では初めての連邦検事となり、ヨーロッパ各国を経て、今は東京で勤務しており、「日米の架け橋たらん」との父の遺志を



『経済効果』

宮本勝浩（大学院会計研究科教授）著

ってなんだろう？

中央経済社 刊



定価1680円（税込）

最初にこの本を手にとった時には、非常に驚いた！これまで宮本教授が書かれた本はすべて難しい数式や図がビッシリ書かれていて、専門家以外はほとんど手にしないタイプの本であった。しかし、こ

継いでいる。

ホテルのエレベーターで、私のタイピン（関大校章）を見て声をかけていただいた環境都市工学部の河井康人教授と、一日、ナイアガラへの日帰り旅行「写真」を楽しむ傍倅にも恵まれた。

（東浦栄＝昭26学商）



の本は日本で初めての経済効果の本であり、宮本教授の大好きな阪神タイガース、吉本興業、AKB48、世界一高い東京スカイツリー、かわいいたま駅長、ウリ坊とみわちゃん、ゴルフの石川遼選手、大リーグのダルビッシュ投手などのエピソードと経済効果について、子どもから大人までが読める楽しい読み物になっている。

やや専門的な話をする、第1章ではJ・シュンペーターが「経済発展の理論」で紹介した経済発展に必要な5つのイノベーションの理論を、阪神タイガース、吉本興業、AKB48が大ブレイクした現象に当てはめて独創的な分析をしていることは非常に興味深い。また、奈良の大仏を現在の時代に造ったら費用はいくらになるかも計算している。

宮本教授ははじめ多くのシンクタンクが発表している経済効果の金額が本当に正確なのかと疑問をもっていたが、宮本教授は事前に発表した経済効果について、いくつかのイベントが終わった後で実際のデータを手にして経済効果の事後的な検証を行っている。このような事後的な検証を行った分析は、日本では宮本教授が初めてである。そして、

【本部関係】

平成24年度校友総会 10月21日(日)午後0時半 千里山
キャンパス・BIGホール100 議題=任期満了による代議員の
改選について
若手校友落語家支援「関大寄席」 10月28日(日)午前10
時 天満天神繁昌亭
平成25年校友会新年互礼会 25年1月15日(火)午後6時
大阪新阪急ホテル
臨時代議員会 1月26日(土)午後1時 千里山キャンパス・
100周年記念会館

【地域支部】

東播支部総会 9月27日(木)午後6時45分 加古川プラザ
ホテル(角谷賢造=079-448-7142)
大阪中央支部総会 9月29日(土)午後6時半 シティプラザ
大阪(伊藤晃充=0743-71-2285)
西宮支部総会 10月6日(土)午後6時 ノボテル甲子園(栄
興電機興業・小坂圭一=06-6491-5301)
宝塚支部総会 10月6日(土)午後6時 宝塚ホテル(塚本
寿一=0797-85-1491)
川西支部総会 10月6日(土)午後6時 アステ川西6階大ホ
ール(8千円。荒木敏雄=072-758-1787)
東成支部総会 10月6日(土)午後6時 ホテルアウィーナ大
阪(米谷晴生=06-6981-3858)
西淀川支部総会 10月13日(土)午後5時 ホテルグランヴ
ィア大阪・レストランアブ(西山正明=06-6474-8587)
鹿児島千里会総会 10月13日(土)午後6時 ジェイドガー
デンパレス翠園(時任博幸=099-264-7806)
生駒支部総会 10月20日(土)正午 近鉄けいはんな線・学
研北生駒「サンマルク」(藤 俊弘=0743-79-5157)
高石支部総会 10月20日(土)午後6時 高石市立アブラ
4階(陸田弘行=072-263-8954)
姫路支部総会 10月26日(金)午後6時半 北京閣本店(大
野由紀雄=0792-96-0238)
門真支部総会 10月26日(金)午後6時半 松心会館(西田
一郎=06-6901-1652)
三重中勢支部総会 10月27日(土)午前11時 プラザ洞津
(森貞弘=059-231-0295)
首都圏支部連合会総会 10月27日(土)午後1時 関西大学
東京センター(関西大学東京センター=03-3211-1670)
関大神戸平成倶楽部懇親会 10月27日(土) ボウリング大
会 午後3時半 ラウンドワン三宮駅前店7階(1,500円)
懇親会 午後6時半 神戸東急イン1階(3千円。今中寛=
080-5338-4218、kuaakobe1956@gmail.com)
大東支部総会 10月27日(土)午後6時半 大東市民会館
(小川不動産鑑定事務所・小川哲男=06-6448-2287)
枚方支部総会 10月28日(日)午後2時 ひらかたパーク
内・グランローズ(阿部進=072-847-1111)
愛知東支部総会 10月28日(日)午前11時 ホテルアソシア
豊橋(北村孝基=0533-86-8350)

神戸支部親睦ゴルフ大会 11月3日(祝)午前7時20分 オリ
エンタルゴルフ倶楽部(1万7千円。大倉敏郎=090-3716-
9100、kuaakobe1956@gmail.com)
高知支部総会 11月3日(祝)午後5時半 高知会館(岡内
紀雄=088-873-3270)
貝塚支部再建5周年記念総会 11月3日(祝)午後6時 関
西エアーポートワシントンホテル(岡本俊彦=072-431-
3547)
生野支部総会 11月10日(土)午後6時 上本町ハイハイタ
ウン(西田随善=06-7850-5671)
大分千里会総会 11月10日(土)午後6時半 大分全日空ホ
テルオアシスタワー(徳重忠男=0977-27-8700)
神崎支部総会 11月11日(日)午前10時 グリーンエコー笠
形(赤松裕樹=0790-22-4854)
備後支部総会 11月17日(土)午後5時半 福山ニューキャ
ッスルホテル(福山包装・畦崎雅則=0849-43-1741)
平野支部総会 11月17日(土)午後6時 ホテル阪神(田中
義信法律事務所=06-6316-0348)
山口千里会総会 11月17日(土)午後6時半 新山口駅前・
山口グランドホテル(北乗吉道=0839-86-2626)
岐阜千里会総会 11月18日(日)午後4時 岐阜グランドホ
テル(ハビックス・宮地博=058-296-3911)

【職域会ほか団体】

関大法曹会総会・司法試験合格者祝賀会 9月28日(金)午
後6時半 大阪新阪急ホテル(尾島法律事務所=06-6363-
2870)
大阪家事調停協会関大会総会 10月12日(金)午後6時 プ
リムローズ大阪(鍋島均=072-221-5269)
応援団OB長柄会(部)総会 10月13日(土)午後6時
大阪新阪急ホテル・花の間(中村司法書士事務所・中村
博=06-6705-5678)
同好会「旅」40周年記念式典 10月20日(土)午後3時
千里山キャンパス・100周年記念会館「レストラン紫紺」(第
19代・森 保文=090-8750-1819)
体育会射撃部昭和30年代卒業OB有志集う会 10月29日
(月)正午 がんこ阪急東通り店(5千円。世話役・38年卒
女川隆=090-3274-4038)
三二会総会 11月2日(金)午後4時 校友・父母会館 校
友会会議室(廣芝國夫=072-751-2561)
経済人クラブ第197回例会 11月5日(月)午後6時 大阪
新阪急ホテル・花の間(校友会事務局=06-6368-0041)
法律相談所OB会「法窓会」50周年記念総会 11月10日
(土)午後6時半 新大阪ワシントンホテルプラザ(大東恭治
法律事務所=06-6316-8828)
関大不動産鑑定士クラブ総会 11月17日(土)午後4時 レ
スラン紫紺(笠井不動産鑑定=06-6311-1205)
司法書士関大会第52回総会 11月17日(土)午後5時 大
阪キャッスルホテル(中村司法書士事務所・中村博=06-
6705-5678)

THINK PRINTING

印刷する会社から印刷を考える会社へ

東洋紙業高速印刷株式会社

〈本社〉〒556-0029 大阪市浪速区芦原2丁目5番56号
TEL 06(6567)0511(代) FAX 06(6567)1539

広島事業本部/東広島工場/九州営業本部/福岡営業所

20,000戸を超える実績を誇る
信頼のエスリードシリーズ。

※平成24年5月現在

創業20周年を担う 「総合開発事業」の リーディングカンパニー

日本エスリードは1992年の創業以来、
「住む人の立場に立った住まいづくり」という
一貫した理念により、マンション業界の
リーディングカンパニーへと急成長いたしました。
東証一部上場10周年、大証一部上場11周年、
創業20周年という大きな節目の時を迎え、
今後も「住む人の立場に立った住まいづくり」を目指し、
グループ全体で“総合住宅産業”の
充実をはかりより強い歩みで未来へ
前進してまいります。



エスリード 京都 マンションシリーズ 好 評 分 譲 中 !!

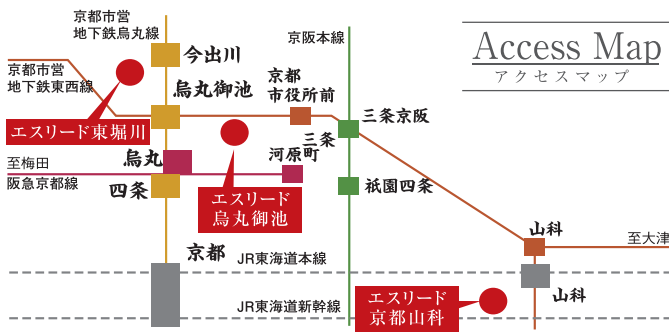
エスリード烏丸御池

※掲載の外観完成予想図は、設計図を基に描き起こしたもので、官公庁の指導、施工上の都合等により建物の形状・色調・植栽・照明等に変更が生じる場合がございます。なお、敷地外の隣接建物等は描いておりません。また、植栽は特定の季節や竣工時の状態を描いたものではありませんので実態とは異なります。

■物件概要 ●名称/エスリード烏丸御池 ●所在地/京都府京都市中京区堺町通御池下丸木材町670番地(地番) ●交通/地下鉄烏丸線・東西線「烏丸御池」駅徒歩4分 ●用途地域/商業地域 ●敷地面積/378.12㎡ ●構造・規模/鉄筋コンクリート造、地上11階地下1階建 ●総戸数/40戸 ●店舗1戸 ●販売戸数/9戸 ●販売価格(税込)/3,350万円～3,960万円 ●住居専有面積/48.70㎡～66.85㎡ ●バルコニー面積/5.40㎡～5.70㎡ ●間取り/1LDK ●管理費(月額)/11,900円～13,100円 ●修繕積立金(月額)/4,900円～5,300円 ●修繕積立一時基金(引渡時一括)/294,000円～318,000円 ●ペット登録料(月額)/100円(1頭別) ●駐車場/2台(来客用) ●分譲後の権利形態/敷地は専有面積持分比率による共有、建物は区分所有 ●管理形態/区分所有者全員にて管理組合を結成し、管理会社に委託 ●管理会社/エスリード管理株式会社 [国土交通大臣(3)第061002号] ●建築確認番号/第H23確認建築京機構0101099号(平成23年12月22日) ●竣工予定/平成25年2月(予定) ●入居予定/平成25年2月(予定) ●事業主(売主)/日本エスリード株式会社 ●設計・監理/株式会社礎一級建築士事務所 ●施工/大末建設株式会社 大阪本店

■物件概要 ●名称/エスリード一条東堀川 ●所在地/京都府京都市上京区東堀川通一条上る堅富岡町426番2(地番) ●交通/地下鉄烏丸線「今出川」駅徒歩10分 ●用途地域/商業地域・準工業地域 ●敷地面積/1036.56㎡ ●構造・規模/鉄筋コンクリート造、地上7階建 ●総戸数/42戸 ●販売戸数/3戸 ●販売価格(税込)/3,700万円～3,840万円 ●住居専有面積/65.92㎡～74.39㎡ ●間取り/2LDK～3LDK ●管理費(月額)/11,300円 ●修繕積立金(月額)/5,500円～6,200円 ●修繕積立一時基金(引渡時一括)/330,000円～372,000円 ●ペット登録料(月額)/100円(1頭別) ●駐車場/5台/駐車場使用料(月額)/18,000円 ●分譲後の権利形態/敷地は専有面積持分比率による共有、建物は区分所有 ●管理形態/区分所有者全員にて管理組合を結成し、管理会社に委託 ●管理会社/エスリード管理株式会社 [国土交通大臣(3)第061002号] ●建築確認番号/第H23確認建築京機構01263号(平成24年2月6日) ●竣工予定/平成24年12月25日(予定) ●入居予定/平成25年1月25日(予定) ●事業主(売主)/日本エスリード株式会社 ●施工/安藤建設株式会社 大阪支店

■物件概要 ●名称/エスリード京都山科 ●最終分譲概要 ●所在地/京都府京都市山科区御陵天津畑町16番3、25番3(地番) ●交通/京都市営地下鉄東西線「山科」駅徒歩5分、JR東海道本線・湖西線「山科」駅徒歩8分、京阪電鉄京津線「京阪山科」駅徒歩7分 ●地域・地区/第1種住居地域・近隣商業地域 ●敷地面積/2579.46㎡ ●構造・規模/鉄筋コンクリート造、地上7階建 ●総戸数/64戸 ●販売戸数/9戸 ●販売価格/2,460万円～3,760万円 ●住居専有面積/63.00㎡～92.26㎡ ●バルコニー面積/10.33㎡～13.20㎡ ●間取り/2LDK～4LDK ●管理費(月額)/8,000円～11,700円 ●修繕積立金(月額)/5,000円～7,400円 ●修繕積立一時基金(引渡時一括)/300,000円～444,000円 ●ペット登録料(月額)/100円 ●駐車場/35台(来客用3台含む) ●駐車場使用料(月額)/4,500円～8,500円 ●分譲後の権利形態/敷地は専有面積持分比率による共有、建物は区分所有 ●管理形態/区分所有者全員にて管理組合を結成し、管理会社に委託 ●管理会社/エスリード管理株式会社 国土交通大臣(3)第061002号 ●建築確認番号/第KKK01107169号(平成24年2月13日) ●第KKK01201341号(平成24年6月7日) ●第KKK01201958号(平成24年6月22日) ●竣工予定/平成25年1月下旬(予定) ●入居予定/平成25年2月下旬(予定) ●事業主(売主)/日本エスリード株式会社 ●施工/筑建設株式会社 大阪支店



■事業主(売主) 宅地建物取引業免許/国土交通大臣(4)5489号
一級建築士事務所/大阪府知事登録(口)第21863号
日本エスリード株式会社
本 社 〒553-0003 大阪府福島区福島六丁目25番19号
TEL:06-6345-1880(代) FAX:06-6345-1770
福岡支店 〒810-0001 福岡市中央区天神五丁目9番9号
TEL:092-734-3394(代) FAX:092-734-4248

日本エスリード株式会社のホームページ
インターネットでもエスリードシリーズの
マンション発売情報を提供しています。
<http://www.eslead.co.jp/>

日本エスリード 検索

携帯電話で資料請求ができます。

右記を対応携帯電話で読み取っていただければ、
直接資料請求のサイトにアクセスできます。



●「エスリード烏丸御池」マンションギャラリー

0120-040-064

●「エスリード一条東堀川」マンションギャラリー

0120-110-943

●「エスリード京都山科」マンションギャラリー

0120-8047-64